

# 令和5年度 西東京三大学連携事業 英語化科目 特別聴講学生募集要項

## 1 本制度の実施趣旨

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学、の西東京3大学は、連携して文系及び理系のそれぞれの強みを生かした「文理協働型グローバル人材育成プログラム」を実施している。本取り組み（英語化科目）は、連携事業の一環として実施するものであり、3大学はそれぞれの特徴を生かした共通教育科目を英語で開講する。学生は、他大学の授業を相互に受講し合うことで、国際感覚や語学力の養成、幅広い視野の獲得及び所属大学や文理の垣根を超えた交流の機会を得る。なお、受入れ側の他大学（以下、「受入れ大学」という。）において修得した単位は、単位互換制度等により、学生を派遣した所属大学（以下、「派遣大学」という。）において修得した単位として認定される。

## 2 出願資格

令和5年4月1日現在、東京外国語大学、東京農工大学及び電気通信大学に在籍する1～3年次までの学部学生で、所属大学を含め3大学において授業科目の履修を希望する者。

ただし、最終講義が12月までに終了する科目については、学部4年次生の履修を認める。

## 3 授業料等

特別聴講学生の検定料、入学科及び授業料は徴収しない。

## 4 開放科目

別紙のとおり（開講日程はシラバスを参照すること）

三大学英語化科目の全科目が、両学部（農・工）履修可能です。

## 5 出願手続等

出願者は、下記の通り履修申請すること。

① 東京外国語大学・電気通信大学 開講科目を希望する者は、令和5年5月12日（金）正午までに、Google フォームにて申請すること。

② 東京農工大学 開講科目の受講を希望する者は、通常の農工大科目と同様に、SPICAの履修登録期間にSPICAで履修登録すること。

※SPICAには「開講学部」の項目が「農学部・工学部」いずれかで表示されているが、三大学英語化科目の全科目が両学部（農・工）受講対象です。

※東京外国語大学・電気通信大学 開講科目を希望する者は、下記の書類が必要となる。

該当者には別途連絡する。

(i) 写真1枚（縦4cm、横3cm）メールに写真データを添付して提出。

(ii) 成績証明書（1年生は不要）

※東京農工大学 開講科目の履修に当たっては、以下の留意点を確認したうえで申請すること。

・東京外国語大学・電気通信大学 開講科目と同様に、学部1～3年次生を履修対象とする。

ただし、最終講義が12月までに終了する科目については、学部4年次生の履修を認める。

・所属学部と異なる学部が開講する科目の履修も可とする。

## 6 受入可否の通知

派遣大学を通じ、7月中旬に通知する。

## 7 履修期間

履修する授業科目が開講される学期または年度とし、1年以内とする。

## 8 試験の実施方法

受験上の取扱い等については、受入れ大学の規則による。

## 9 単位認定

受入れ大学からの成績通知に基づき、派遣大学において単位認定する。

東京外国語大学・電気通信大学 開講科目の履修登録は、前期開講分は11月中旬頃、

後期開講分は3月中旬頃に成績登録と履修登録を併せて教務にてSPICAへ登録予定です。

（学生がSPICAに履修登録する必要はありません）

## 10 受入れ大学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができる。なお、通学する際に

は派遣大学の学生証を携帯すること。

## 11 授業時間割

### 【東京外国語大学】

| 1時限        | 2時限         | 3時限         | 4時限         | 5時限         | 6時限         | 7時限         |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 8:30～10:00 | 10:10～11:40 | 12:40～14:10 | 14:20～15:50 | 16:00～17:30 | 17:40～19:10 | 19:20～20:50 |

### 【東京農工大学】

| 1時限        | 2時限         | 3時限         | 4時限         | 5時限         | 6時限         |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 8:45～10:15 | 10:30～12:00 | 13:00～14:30 | 14:45～16:15 | 16:30～18:00 | 18:15～19:45 |

### 【電気通信大学】

| 1時限        | 2時限         | 3時限         | 4時限         | 5時限         | 6時限         | 7時限         |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 9:00～10:30 | 10:40～12:10 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:15～17:45 | 17:50～19:20 | 19:30～21:00 |

## 12 その他

英語化科目の受講風景など、撮影した写真を広報用の web 及びパンフレットに使用する可能性がある。

## 13 各大学の所在地及び問い合わせ先

### 【東京外国語大学】

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学学務部教務課 (TEL:042-330-5168)

西武多摩川線 多磨駅から徒歩約 5 分  
京王線 飛田給駅から京王バス  
東京外大東停留所 下車徒歩 0 分 (バス所用時間約 6 分)  
東京外国語大学前停留所 下車徒歩 0 分 (バス所用時間約 10 分)  
飛田給駅から徒歩約 20 分  
※自動車による通学はできません。

### 【東京農工大学】

東京農工大学学務課 (TEL:042-367-5918)

① 農学部 (府中キャンパス) 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

JR 中央線 国分寺駅南口から府中駅行きバス約 12 分 晴見町下車  
京王線 府中駅北口から国分寺駅行きバス約 7 分 晴見町下車  
JR 武蔵野線 北府中駅から徒歩約 12 分

② 工学部 (小金井キャンパス) 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

JR 中央線 東小金井駅南口から徒歩約 8 分  
JR 中央線 武蔵小金井駅南口から徒歩約 13 分

### 【電気通信大学】

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学教務課学域教務係 (TEL 042-443-5076・5077)

京王線調布駅北口下車徒歩 5 分  
※自動車・オートバイによる通学はできません。

令和 5 年度 西東京三大学連携事業 英語化科目一覧

令和5年3月24日現在

| 通番 | 開講大学    | 授業科目名                                                         | 英文授業科目名                                                                                                                | 教員名              | 学期名 | 曜限等 | ページ |
|----|---------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----|-----|-----|
| 1  | 東京外国語大学 | 日本の現在を知るⅠ<br>〔日本と国際機関〕                                        | Aspects of Contemporary Japan Ⅰ<br>〔Japan in International Organizations〕                                              | イスマイロフ           | 夏学期 | 集中  | 1   |
| 2  | 東京外国語大学 | 日本の言語を知るⅠ<br>〔日本語の言語変異と言語変化〕                                  | Aspects of the Japanese Language Ⅰ<br>〔Japanese Language Variation and Change〕                                         | ダニエル ロング         | 夏学期 | 集中  | 5   |
| 3  | 東京外国語大学 | 国際社会と地域Ⅰ<br>〔観光マネジメント入門〕                                      | Global Society and Local Society Ⅰ<br>〔Introduction to Tourism Management〕                                             | メルヴィン            | 夏学期 | 集中  | 9   |
| 4  | 東京外国語大学 | 日本の文学と文化を知る2<br>〔日本の食文化〕                                      | Aspects of Japanese Literature and Culture 2<br>〔Topics in Japanese Food Culture〕                                      | モリス              | 秋学期 | 毎週  | 13  |
| 5  | 東京外国語大学 | 日本の文学と文化を知るⅠ<br>〔ジェンダーと日本における若者文化〕                            | Aspects of Japanese Literature and Culture Ⅰ<br>〔Gender and Youth Culture in Japan〕                                    | 小野 五弥子           | 夏学期 | 集中  | 17  |
| 6  | 東京外国語大学 | 国際社会と地域Ⅰ<br>〔インタラクティブ・グループワークを通してメンタルヘルスを学ぶ〕                  | Global Society and Local Society Ⅰ<br>〔Exploring Mental Health Topics through Interactive Group Work〕                  | 奥山 ルシнда         | 夏学期 | 集中  | 20  |
| 7  | 東京外国語大学 | 教養としての言語学2<br>〔スピーチ・コミュニケーション〕                                | Linguistics for Everyone 2<br>〔Speech Communication〕                                                                   | 岡田 昭人            | 秋学期 | 毎週  | 23  |
| 8  | 東京外国語大学 | 歴史の中の日本を知る2<br>〔近現代日本史概説〕                                     | Aspects of Japanese History 2<br>〔Topics in Modern Japanese History〕                                                   | 木村 正美            | 秋学期 | 毎週  | 26  |
| 9  | 東京外国語大学 | 日本の現在を知る2<br>〔現代日本社会における高齢化と公共政策〕                             | Aspects of Japanese History 2<br>〔Aging and Public Policies in Contemporary Japan〕                                     | ヤン ズイー           | 秋学期 | 毎週  | 30  |
| 10 | 東京外国語大学 | 歴史の中の日本を知る2<br>〔英語で読む現代日本の短編小説〕                               | Aspects of Japanese History 2<br>〔Contemporary Japanese Short Stories in English〕                                      | 中上 紀             | 秋学期 | 毎週  | 34  |
| 11 | 東京農工大学  | Global Communication                                          | Global Communication                                                                                                   | 堀切 友紀子           | 2学期 | 集中  | 39  |
| 12 | 東京農工大学  | 上級生物学                                                         | Advanced Biology                                                                                                       | 古谷 哲也 他          | 3学期 | 毎週  | 42  |
| 13 | 東京農工大学  | 共生社会について考える                                                   | Perspective of the Humanities and Social Science on "Kyosei Society"                                                   | 吉田 央 他           | 3学期 | 毎週  | 46  |
| 14 | 東京農工大学  | Water Resources Management                                    | Water Resources Management                                                                                             | 加藤 亮             | 2学期 | 集中  | 50  |
| 15 | 東京農工大学  | 土と水                                                           | Soil and Water                                                                                                         | Hiroataka Saito  | 3学期 | 毎週  | 52  |
| 16 | 東京農工大学  | 途上社会における人口事情学                                                 | The Study on Population Affairs in Developing Societies                                                                | 轟 海松             | 2学期 | 集中  | 54  |
| 17 | 東京農工大学  | 森林資源とバイオマス                                                    | Forest Resources and Biomass                                                                                           | 安藤 恵介            | 2学期 | 集中  | 57  |
| 18 | 東京農工大学  | Communicating Science                                         | Communicating Science                                                                                                  | 安村 友紀            | 3学期 | 毎週  | 60  |
| 19 | 東京農工大学  | 波とはなにか？                                                       | What is a Wave? -Essentials of Physics-                                                                                | 伊藤 輝将            | 3学期 | 毎週  | 63  |
| 20 | 東京農工大学  | 持続型社会のための工学                                                   | Engineering for Sustainable Society                                                                                    | 野間 竜男            | 2学期 | 集中  | 66  |
| 21 | 電気通信大学  | 学域特別講義A<br>(マインドスポーツゲームを学ぶ)                                   | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Learn to Play Games Called Mind Sports)                           | 保木 邦仁            | 前学期 | 集中  | 69  |
| 22 | 電気通信大学  | 学域特別講義A<br>(融合領域の最新動向B)                                       | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Current Topics in Emerging Multi-interdisciplinary Engineering B) | 菅 哲朗 他           | 前学期 | 集中  | 71  |
| 23 | 電気通信大学  | 学域特別講義A<br>(基盤理工学B)                                           | Current Topics in Fundamental Science and Engineering A                                                                | 酒井 剛             | 前学期 | 集中  | 74  |
| 24 | 電気通信大学  | 学域特別講義A<br>(基礎物理学実験)                                          | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Introduction to Physics Laboratory)                               | 未定               | 前学期 | 集中  | 77  |
| 25 | 電気通信大学  | 学域特別講義A<br>(基礎化学実験)                                           | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Introduction to Chemistry Laboratory)                             | 小林 義男            | 前学期 | 集中  | 80  |
| 26 | 電気通信大学  | Experimental Electronics Laboratory                           | Experimental Electronics Laboratory                                                                                    | 岸本, Nayak        | 後学期 | 毎週  | 85  |
| 27 | 電気通信大学  | UEC Academic Skills I<br>(Computer Literacy)                  | UEC Academic Skills I<br>(Computer Literacy)                                                                           | Choo Cheow Keong | 後学期 | 毎週  | 88  |
| 28 | 電気通信大学  | UEC Academic Skills II<br>(Information Literacy and Research) | UEC Academic Skills II<br>(Information Literacy and Research)                                                          | Choo Cheow Keong | 後学期 | 毎週  | 91  |
| 29 | 電気通信大学  | UEC Academic Skills III<br>(Publishing Literacy and Research) | UEC Academic Skills III<br>(Publishing Literacy and Research)                                                          | Choo Cheow Keong | 後学期 | 毎週  | 94  |

※ 東京外国語大学では、授業科目名と授業題目名を分けています。上記の表においては、「授業科目名〔授業題目名〕」で記載しています。

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |            |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|
| 授業科目名        | 科目名： 日本の現在を知る 1<br>授業題目： 日本と国際機関                                                                                                  |      |            |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Contemporary Japan 1<br>Course Title: Japan in International Organizations                              |      |            |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4 |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>9/5, 6, 7 1-5 限<br>1-5 periods (8:30-17:30)                                                                       | 開講場所 | オンライン      |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2          |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |            |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 担当教員名        | イスマイロフ・ムロド<br>ISMAILOV, Murod                                                                                                     |      |            |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |            |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |            |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | この授業では、日本の外交政策が、さまざまな国際機関での活動において地球的規模で与える影響とその範囲について理解することを目的とする。<br><br>The goal of this course is to help students understand the scope and impact of Japan's foreign policy on a global level as seen through its involvement in the activities of various international organisations. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 教科書等                    | 参考書<br><br>参考書 1<br>ISBN: 1-107-61261-7<br>書名: International organizations : politics, law, practice<br>著者名: Ian Hurd<br>出版社: Cambridge University Press<br>出版年: 2014                                                                                                                       |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | <p>参考書 2</p> <p>書名: Diplomatic Bluebook of Japan's Foreign Policy (2022)</p> <p>著者名: MFA of Japan</p> <p>出版社: MFA of Japan</p> <p>出版年: 2022</p> <p>備考: <a href="https://tinyurl.com/tr668eec">https://tinyurl.com/tr668eec</a></p> <p>参考書 3</p> <p>ISBN: 9781138182103</p> <p>書名: Routledge handbook of Japanese foreign policy</p> <p>著者名: edited by Mary M. McCarthy</p> <p>出版社: Routledge</p> <p>出版年: 2018</p> <p>備考: 参考書については事前の購入不要。詳細については初回の授業で説明する。</p> <p>Note: Please, DO NOT buy any of the mentioned books beforehand. Details will be announced during the first session.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p><b>授業内容とその進め方</b></p> | <p>この授業では、国際機関について検討するために重要な 4 つの側面である(1) 理論、(2) 基本概念、(3) 重要な論点、(4) 将来の課題、について紹介する。これら 4 つの側面を現実の場面に即したシミュレーション、集中的なグループ活動、分析ワークショップなどのインタラクティブ モジュールを通して学ぶ。</p> <p>第 1 回 コースの概要</p> <p>第 2 回 現代日本の外交政策の重要な柱</p> <p>第 3 回 国際機関 (IO) : 歴史的進化</p> <p>第 4 回 第二次世界大戦以降の IO</p> <p>第 5 回 日本と IO : 定義、機能、役割</p> <p>第 6 回 現代日本の外交政策における IO の役割</p> <p>第 7 回 政治的 IO における日本 (国連を含む)</p> <p>第 8 回 経済的 IO における日本</p> <p>第 9 回 社会のおよびその他の IO における日本</p> <p>第 10 回 日本の状況 : 地域主義 vs 普遍主義</p> <p>第 11 回 シミュレーション #1 : 日本と UNSC</p> <p>第 12 回 シミュレーション #2 : 日本と気候交渉</p> <p>第 13 回 シミュレーション #3 : 日本と人道的危機</p> <p>第 14 回、第 15 回 シミュレーション : 国連のモデル</p> <p>This course will introduce 4 crucial aspects in the analysis of international organisations: (1) Theories, (2) Concepts, (3) Key Issues, (4) Future Challenges. All four aspects will be studied through interactive modules which will include real-life simulations, intensive team-work, analytic</p> |

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                  | <p>workshops.</p> <p>1: Introduction to the course;<br/> 2: Key pillars of Japan's contemporary foreign policy;<br/> 3: International organisations (IO): historical evolution;<br/> 4: Post-Second World War IOs;<br/> 5: Japan &amp; IOs: definitions, functions and roles;<br/> 6: Role of IOs in Japan's contemporary foreign policy;<br/> 7: Japan in Political IOs (incl. UN);<br/> 8: Japan in Economic IOs;<br/> 9: Japan in Social and Other IOs;<br/> 10: Japan's Position: regionalism versus universalism.<br/> 11: Simulation #1: Japan and UNSC;<br/> 12: Simulation #2: Japan and Climate Talks;<br/> 13: Simulation #3: Japan and Humanitarian Crises;<br/> 14: Model United Nations (simulation)<br/> 15: Model United Nations (simulation)</p> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>1) このクラスは入門レベルであり、政治学の経験がない学生も参加できる。東京外国語大学の提携大学の学生も大いに歓迎する。<br/> 2) チームやクラスメートとの積極的な交流を期待する。<br/> 3) 出席を確認する。<br/> 4) この授業はオンラインで行われる予定である。開講形態についての詳細は、履修登録をした学生にメールにて送信する。<br/> 5) 授業時間内に、資料を配布する。</p> <p>1) The course is introductory. Students with no prior background in political studies are welcome to join. Students from 'TUFS' partner universities are welcome too.<br/> 2) Expect active interaction with your team and classmates.<br/> 3) Attendance will be checked.<br/> 4) The course is expected to be held online. Detailed instructions regarding the mode of instruction will be sent by email to the registered students.<br/> 5) Printed materials will be distributed at the lectures.</p>                                        |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>個々のミニプロジェクト-30%<br/> グループ活動-30%<br/> クラス内課題および宿題-20%<br/> 最終レポート課題-20%</p> <p>Individual mini-projects - 30 %<br/> Team-based activities - 30 %<br/> In-class and home assignments - 20%<br/> Final written assignment - 20%</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>glip@tufts.ac.jp</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                          | <p>n/a</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|       |                                                                                |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| その他   | n/a                                                                            |
| キーワード | 日本、日本の外交政策、国際機関<br>Japan, Japanese foreign policy, international organisations |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：日本の言語を知る 1<br>授業題目：日本語の言語変異と言語変化                                                                                              |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of the Japanese Language 1<br>Course Title: Japanese Language Variation and Change                         |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>7/24 - 28、2 - 4 限<br>2-4 periods (10:10-15:50)                                                                    | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 105 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | ダニエル ロング<br>LONG, Daniel                                                                                                          |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | この授業では日本語における共時的変異および通時的変化に関する知識を身につけた上、それらについて英語で説明するのに必要な語彙や表現を学びます。<br><br>Those who actively and successfully participate in this class will gain knowledge about language variation and change in the Japanese language, as well as the English skills necessary to discuss and explain characteristics of diachronic Japanese language change and synchronic dialectal variation. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教科書等                    | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 授業内容と<br>その進め方          | このコースで取り上げるテーマには次のものが含まれています。日本語の方言はどのように異なるか。日本本土諸方言と琉球系諸方言はどのような関係にあるか。こういった問題以外に、データ収集法や分析方法を学びます。一週間の集中授業なので、教員による講義とグループワーク、グループディスカッションを相互に行ないます。                                                                                                                                                                                                                                 |

第1回 日本諸方言の方言区画およびその背景にある等語線  
 第2回 日本方言学。グループワークによって「自他動詞の対とそれを生産するための形態論的課程」を探る  
 第3回 音声学的特徴および音韻論的特徴の地理的分布  
 第4回 語彙および文法事項の地理的分布  
 第5回 言語変種の言語的距離を測定するツール（道具、手法）としてスワデッシュリスト  
 第6回 グループワークで沖縄語（方言）と奄美語（方言）のスワデッシュリストを分析する  
 第7回 本土系と琉球系の諸方言を比較する  
 第8回 琉球系（沖縄や奄美）の言語変種における音韻論的、文法的、語彙的バリエーション（言語変異）  
 第9回 方言接触、コイナーという接触変種およびコイナー化の課程  
 第10回 20世紀および21世紀の日本語における進行中の変化。「新方言」と「ネオ方言」という概念の共通点と相違点  
 第11回 東京方言、関東方言、標準語、共通語  
 第12回 当為表現（義務表現）における地理的変異と変化。言語内的変化と言語外的変化。標準語化と類推による変化  
 第13回 言語景観にみられる方言  
 第14回 専門的概念や用語の復習と総合討論  
 第15回 オンライン試験  
 ※ 本コースは一週間の集中講義となっているため、14回目は復習で15回目の教室内ではなく、オンラインで試験を実施する。

Topics to cover focus on the following: In what ways do Japanese dialects differ? Why does dialectal variation exist? What is the relationship between mainland Japan dialects and the language varieties of Okinawa? We will also learn techniques for the collection and analysis of dialects. As this is a week long intensive course, we will alternate between lectures, group work and discussions of that work.

1. The dialect divisions of Japanese and the dialect isoglosses behind them
2. Japanese dialects and dialectology, group work analyzing intransitive and transitive verbs pairs as a kind of morphological process
3. Geographical distribution of dialects (phonetics and phonology)
4. Geographical distribution of dialects (lexicon and grammar)
5. The "Swadesh List" as a tool for quantifying "linguistic distance"
6. Group work compiling and analyzing Okinawan and Amami Swadesh Lists
7. Mainland Japanese varieties and Ryukyuan Varieties
8. Language varieties of Ryukyu (Okinawa and Amami), phonological, grammatical and lexical variation
9. Dialect contact, koiné language varieties and the processes of koineisation
10. Recent (20th century) and current (21st century) ongoing change in Japanese; similarities and differences in the concepts of "New Dialect" and

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                  | <p>"Neo Dialect"</p> <p>11. Tokyo dialect, Kanto dialects, Standard Japanese and "Common Japanese"</p> <p>12. Grammatical variation and change in "obligation expressions"; internal and external change; Standardization and Analogical Change</p> <p>13. Dialect in the linguistic landscape</p> <p>14. Review and discussion of the week's key concepts and linguistic terminology</p> <p>15. online final exam</p> <p>* As this is a one-week intensive course, the 14th period will be a review of the weeks key concepts and linguistic terminology necessary for discussing them. The 15th period will be a final written exam.</p> <p>Topics to cover focus on the following: In what ways do Japanese dialects differ? Why does dialectal variation exist? What is the relationship between mainland Japan dialects and the language varieties of Okinawa? We will also learn techniques for the collection and analysis of dialects. As this is a week long intensive course, we will alternate between lectures, group work and discussions of that work.</p> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>一週間の集中講義のため、復習や予習の時間が非常に限られている。だからこそ毎時間の授業参加、分からなかった時の質問、受講生同士によるディスカッションへの積極的参加が必要不可欠である。</p> <p>Because this is a week long intensive course, be aware that you will have very little time each to review and prepare for the next day so it will be vital to attend all classes, ask questions when you do not understand, and actively participate in discussions.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40% グループワーク 40%</li> <li>・ 20% 授業の積極的参加（英語で質問をしたり、意見を述べたりするなど。受講生が 20 人を超えた場合は参加カード記入）</li> <li>・ 40% オンライン期末試験</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Group Work 40%</li> <li>・ Active participation asking questions and expressing opinions in class discussions in English 20% (in the event of an enrollment of more than 20, this will be done using comment sheets)</li> <li>・ Final online exam 40%</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>glip@tufs.ac.jp</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                          | <p>上記のように授業への積極的参加（グループワークやグループディスカッション）が成績に影響するので、ご注意ください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|              |                                                                                                                                                                  |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | As stated above, be aware that your active participation in class group activities and class discussions will affect your grade in this class.                   |
| <b>その他</b>   | n/a                                                                                                                                                              |
| <b>キーワード</b> | 日本語の方言学、地理的分布、方言地図、言語変異、琉球（沖縄）系諸言語<br>Japanese dialectology, geographical distribution, dialect maps, language variation, Ryukyuan (Okinawan) language varieties |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：国際社会と地域 1<br>授業題目：観光マネジメント入門                                                                                                  |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Global Society and Local Society 1<br>Course Title: Introduction to Tourism Management                             |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>7/24, 25, 26, 27, 28、2～4 限<br>2 - 4 periods (10:10-15:50)                                                         | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 305 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | メルヴィン・ジョン<br>MELVIN, John                                                                                                         |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>この授業を修了した学生は以下が可能となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光セクターの構造と組織、およびさまざまな利害関係者（政府、地域コミュニティ、企業、NGO など）間の相互関係についての説明</li> <li>2. 観光による悪影響を制限し、観光地の自然、建造物、文化資源の持続可能な開発と管理を可能にするプロセスを明らかにすること</li> <li>3. 全世界、国家、特定の地域レベルで旅行と観光の成長を促進する要因を明らかにすること</li> <li>4. 消費者行動の変化と観光業経営者への影響について討論すること</li> <li>5. テクノロジー、特にソーシャルメディアが観光に与える影響の説明</li> </ol> <p>At the completion of this course, students should be able to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Describe the structure and organisation of the tourism sector and the interrelationships between the various stakeholders (governments, local communities, companies, NGOs, etc.)</li> <li>2. Identify processes to limit the negative impacts of tourism and enable the sustainable development &amp; management of a destination's natural, built and cultural resources</li> <li>3. Identify factors facilitating the growth of travel and tourism at the global, national and local level</li> <li>4. Discuss changes in consumer behaviour and the implications for tourism</li> </ol> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | managers<br>5. Describe the impact of technology, particularly social media, on tourism                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 前もって履修しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 教科書等                | 教科書はなく、配布資料およびリーディング課題は授業中に配布されるか、Moodle で入手できる。<br><br>There is no set textbook. Handouts and reading materials will be distributed in class and/or available on Moodle.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 授業内容とその進め方          | <p>この授業の目的は、観光についての理解を受講者に提供することである。観光セクターの規模、範囲、組織の概要を把握し、観光が観光地に与えるプラスとマイナスの影響について考察する。さまざまな国際的なケーススタディを通じて、観光地の自然、構築、文化的資源の開発と、それらを持続可能な方法で管理および楽しむ方法について学ぶ。</p> <p>受講者は、特定の観光地での観光関連の問題に焦点を当て、授業中のディスカッションやグループプロジェクトなどの学習機会での話し合いを行う。受講者は入門コースとして、観光の研究に関連する基本的な問題と学説に遭遇する。</p> <p>第1回 授業の内容と進行の概要：観光の重要性と複雑さを理解する<br/> 第2回 観光セクターの構造と組織：地方、国内、国際レベルでの観光セクターの構造と組織を探る<br/> 第3回 観光客：誰が、何を、どこで、なぜ、どのように：観光客のさまざまな類型を探る。さまざまな動機、意思決定、行動を理解する<br/> 第4回 先進国と発展途上国における観光の影響：観光が受入地域、経済、環境にプラスとマイナスの影響をどのように与えるかを探る<br/> 第5回 観光—持続可能な開発：より持続可能な方法で観光を管理する方法に関するアプローチについて調査する<br/> 第6回 夢と経験を売る—観光マーケティング：進化するマーケティング理論、および観光業などのマーケティングサービスの特定の課題について検討する<br/> 第7回 観光とテクノロジー：観光の管理と組織におけるテクノロジーの影響<br/> 第8回 観光危機と災害管理：観光の脆弱性および新型コロナウイルス感染を含めた災害に対し観光地がいかに対応できるかについて分析する<br/> 第9回 日本の観光：日本の観光の過去、現在、そして未来の発展について検討する<br/> 第10回 イベントツーリズム：観光地資源としてのイベントの役割を分析する<br/> 第11回 観光地管理の問題点：国際的なケーススタディから観光地管理について分析する<br/> 第12回 オーバーツーリズム（観光公害）：オーバーツーリズム（観光公害）の推進要因の検討と Airbnb の分析<br/> 第13回 観光とアクセシビリティ（アクセスの可能性）： (i) パラリンピック</p> |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>と障害者および (ii) ソーシャルツーリズム (社会的に不利な立場にある人々のためのツーリズム) に関するディスカッションをベースとした演習</p> <p>第 14 回 グループプレゼンテーション: 学生グループプレゼンテーション (トピックは授業中に割り当てられる)</p> <p>第 15 回 試験</p> <p>The purpose of this course is to provide students with an understanding of tourism. You will gain an overview of the scale, scope and organization of the tourism sector and consider the positive and negative impacts of tourism on destinations. Through a range of international case studies, we will learn about the development of destinations' natural, built and cultural resources and how these can be managed and enjoyed sustainably.</p> <p>Students will engage in additional learning opportunities such as in-class discussions and a group project, focusing on tourism-related issues at a particular destination. As an introductory course, students will encounter some of the fundamental issues and theories relating to the study of tourism.</p> <p>1: Introduction to the Course Content and Class Format: Understanding the significance and complexity of tourism</p> <p>2: The Structure and Organization of the Tourism Sector: Exploring the structure and organization of the tourism sector at the local, national &amp; international level</p> <p>3: Tourists: Who, What, Where, Why, How: Exploring different typologies of tourists; Understanding different motivations, decision-making &amp; behaviors</p> <p>4: Tourism Impacts in Developed and Developing Countries: Investigating how tourism can impact positively and negatively on host communities, economies &amp; environments</p> <p>5: Tourism - Sustainable Development: Examining approaches on how to manage tourism more sustainably</p> <p>6: Selling Dreams and Experiences - Tourism Marketing: Examining evolving theories of marketing, and the particular challenges of marketing services such as tourism</p> <p>7: Tourism and Technology: The impact of technology on the management and organization of tourism</p> <p>8: Tourism Crisis and Disaster Management: Analyzing the vulnerability of tourism and how destinations can respond to disasters, including coronavirus</p> <p>9: Tourism in Japan: Examining the past, present and future development of tourism in Japan</p> <p>10: Event Tourism: Analyzing the role of events as a destination resource</p> <p>11: Issues in Destination Management: Analyzing destination management from an international case study</p> <p>12: Overtourism: considering the drivers of overtourism, and analysis of Airbnb</p> <p>13: Tourism &amp; Accessibility: Discussion-based exercise on (i) the Paralympics</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | & disabled people and (ii) social tourism<br>14: Group Presentations: Student group presentations (topics will be assigned in class)<br>15: Examination                                                                                                                                                                                                 |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | 学生は、本授業から最大限の成果を得られるように、指定されたすべてのリーディングと宿題を完了することが求められる。<br>協調と努力を奨励し評価するため、グループプロジェクトは学生ごとに評価される。<br><br>Students are expected to complete all the assigned reading and homework to enable them to get the most benefit from the lectures.<br>To encourage and reward cooperation and hard work, the group project is assessed on an individual basis. |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | 1. 授業参加と宿題 (30%)<br>2. グループプレゼンテーションとレポート (30%)<br>3. 試験 (40%)<br><br>1. Class participation & homework (30%)<br>2. Group presentation and report (30%)<br>3. Exam (40%)                                                                                                                                                                                |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>キーワード</b>                              | 観光、観光マーケティング、観光管理、持続可能性、観光の影響<br><br>tourism, tourism marketing, tourism management, sustainability, tourism impacts                                                                                                                                                                                                                                    |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |            |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|
| 授業科目名        | 科目名：日本の文学と文化を知る 2<br>授業題目：日本の食文化                                                                                                  |      |            |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Japanese Literature and Culture 2<br>Course Title: Topics in Japanese Food Culture                      |      |            |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4 |
| 開講学期、日にち、時限  | 秋学期 Fall<br>水曜日 4 限<br>Wed. 4th period (14:20 -15:50)                                                                             | 開講場所 | オンライン      |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2          |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |            |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 担当教員名        | モリス<br>MORRIS, Jon                                                                                                                |      |            |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |            |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |            |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>この授業にて学生は、</p> <p>(1) 日本の食文化に用いられる研究方法および理論を理解できるようになる。</p> <p>(2) 日本の食品研究の動向について批判的思考を適用して、健全な方法論に基づいて微妙かつ正確な学術的言説を展開するプロセスについて次第に精通できるようになる。</p> <p>(3) 日本食学の分野における学術論文を理解し、正確に要約し、自身の研究を効果的に構成し、発表できるようになる。</p> <p>(4) 日本の食文化について有意義な質問をし、独自の研究を行うことができるようになる。</p> <p>Students will:</p> <p>(1) understand the research methods and theoretical narratives applied to Japanese food culture.</p> <p>(2) be able to apply critical thinking to trends within Japanese food studies and be familiar with the process of developing increasingly nuanced and accurate academic discourse based on sound methodology.</p> <p>(3) be able to understand and accurately summarize academic writing in the field of Japanese food studies, and structure and present their own work effectively.</p> <p>(4) be able to pose meaningful questions and conduct independent research on Japanese food culture.</p> |
| 前もって履修        | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| しておくべき科目            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 教科書等                | <p>教科書はなく、教材はすべて講師が準備する。</p> <p>No textbooks have been set. All materials will be provided by the instructor.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 授業内容とその進め方          | <p>食は人間社会の最も基本的な側面だが、食品研究や食文化は学問的には未熟な分野である。食は日本の社会的、経済的、宗教的、文化的生活において非常に重要な役割を果たしてきたが、さまざまな日本研究の分野ではまだ注目されていない。この授業では、日本研究における食品研究へのアプローチを探究する若い研究者に動機付けを行うことを目的としている。</p> <p>本授業は話題に基づいた形式を取り、ディスカッションと批判的思考のきっかけとなるアクティブラーニング活動を含む。本膳、懐石、精進などの古典的な料理と、寿司やラーメンなどの象徴的な嗜好品について国境を越えた視点から検討する。学生には、捕鯨、国内労働力と生産不足、スローフード運動などの政治化された問題、および禅宗、山岳宗教、前近代的な菜食主義などの宗教的实践における食品の役割などの話題に関連した日本食に関する重要な話が紹介される。必要に応じて、食品技術、経済学、流通、物質文化についても意見を交わす。</p> <p>授業終了時まで、学生は日本の食文化の理知的で歴史的な複雑さ、地域の多様性、多国籍性について理解を深めることができる。</p> <p>第1回 オリエンテーションと導入講義<br/> 第2回 先史時代の日本の食事<br/> 第3回 前近代の日本の食事<br/> 第4回 和食とは何か？<br/> 第5回 近世日本の食事<br/> 第6回 日本の味と調味料<br/> 第7回 茶道<br/> 第8回 日本における宗教食<br/> 第9回 日本への洋食の伝来<br/> 第10回 現代日本の食事と食糧政策<br/> 第11回 ラーメンが日本にやってくる<br/> 第12回 ラーメンが日本の代表料理になる<br/> 第13回 日本料理のグローバル化<br/> 第14回 ALH1: 学生は、大森いさみ著 “The Redefinition of Washoku as National Cuisine: Food Politics and National Identity in Japan,” International Journal of Social Science and Humanity vol. 7, no. 12, pp. 729-734, 2017 (オンラインで入手可能) を読み、500～800語の詳細な要約と感想文作成の準備を行う。このアクティブラーニングはオンデマンドであり、書面による提出期限(ALH2)までの間、随時行うことができる。</p> <p>第15回 ALH2: 学生は、大森いさみ著 “The Redefinition of Washoku as National Cuisine: Food Politics and National Identity in Japan,” International Journal of Social Science and Humanity vol. 7, no. 12, pp. 729-734, 2017 (オンラインで入手可</p> |

能)を読み、500～800語の詳細な要約と感想文を作成する。このアクティブラーニングはオンデマンドであり、第13授業回の一週間後から提出期限までの間(Google Classroomにて)随時提出可能である。

Food is the most fundamental aspect of human society, but Food Studies and Food Culture are still young fields in academia. Food has played a hugely significant role in social, economic, religious and cultural life in Japan, but it has yet to receive the attention it deserves in the various fields of Japan Studies. This course aims to inspire young researchers to explore Food Studies approaches in Japan Studies.

The class takes a topic based format and includes active learning activities to stimulate discussion and critical thinking. Classic cuisines such as honzen, kaiseki and shojin and iconic favourites such as sushi and ramen are examined from a transnational perspective. Students are introduced to the critical discourse on Japanese food as it relates to topics including politicized issues such as whaling, domestic labour and production shortages and the slow food movement, or the roles of food in religious practice such as Zen Buddhism, mountain religion and pre-modern vegetarianism. Food technology, economics, distribution and materiality are discussed where appropriate.

By the end of the course, students will have gained an appreciation of the intellectual and historical complexity, regional diversity and transnationality of food culture in Japan.

- 1: Orientation and introductory lecture
- 2: Prehistoric Japanese diets
- 3: Pre-modern Japanese diets
- 4: What is Washoku?
- 5: Early Modern Japanese diets
- 6: Japanese tastes and condiments
- 7: The Way of Tea
- 8: Religious diets in Japan
- 9: The introduction of western foods to Japan
- 10: Modern Japanese diets and food policies
- 11: Ramen comes to Japan
- 12: Ramen becomes a representative Japanese dish
- 13: The globalization of Japanese cuisine
- 14: ALH1: Students read Isami Omori, "The Redefinition of Washoku as National Cuisine: Food Politics and National Identity in Japan," International Journal of Social Science and Humanity vol. 7, no. 12, pp. 729-734, 2017. (available online) and write notes in preparation for producing a detailed summary and review of 500-800 words in length. This active learning activity is on demand and may be carried out at any time, so long as the written work deadline (for ALH2) is met.
- 15: ALH2: Students write a detailed summary and review of 500-800 words in length of Isami Omori, "The Redefinition of Washoku as National Cuisine: Food

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | Politics and National Identity in Japan," International Journal of Social Science and Humanity vol. 7, no. 12, pp. 729-734, 2017. This active learning activity is on demand and may be submitted at any time before the deadline (via Google Classroom): one week after the 13th class.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>学生は、日本の食文化に関する広範囲にわたる文献を読むこと。</p> <p>Students should read as widely as possible on the subject of Japanese food culture.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>要約／レビュータスク: (ALH2) 25%</p> <p>リサーチエッセイ: 75%</p> <p>講師の指導のもと、日本の食文化にまつわるテーマでリサーチエッセイを作成し、方法論の指導を受ける。エッセイの長さは、最低 2000 語。第 13 授業回の一週間後から提出期限までの間 (Google Classroom にて) 随時提出可能である。</p> <p>Summary/Review Task: (ALH2) 25%</p> <p>Research Essay: 75%</p> <p>With guidance from the instructor, students set themselves a research essay on a topic related to Japanese food culture and receive guidance on methodology. The essay must be at least 2000 words in length. It may be submitted at any time during the course (via Google Classroom), before the deadline is one week after the 13th class.</p> |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | <p>このクラスはオンラインで開講される。</p> <p>This class will be held online.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>キーワード</b>                              | <p>日本、食、文化、歴史、グローバル化</p> <p>Japan, food, culture, history, globalization</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |            |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|
| 授業科目名        | 科目名：日本の文学と文化を知る 1<br>授業題目：ジェンダーと日本における若者文化                                                                                        |      |            |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Japanese Literature and Culture 1<br>Course Title: Gender and Youth Culture in Japan                    |      |            |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4 |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>9/11 – 9/15、2～4 限<br>2-4 periods (10:10-15:50)                                                                    | 開講場所 | オンライン      |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2          |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |            |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 担当教員名        | 小野 五弥子<br>ONO, Sayako                                                                                                             |      |            |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |            |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |            |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |            |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | 日本のジェンダー観によって大きく形作られた若者文化に、学生が批判的に取り組めるようにすることが本授業の目的です。学生は授業にて、若者が大衆文化を消費することによってジェンダー規範がどのように強化または抵抗されるかについて話し合います。<br><br>The goal of this course is to enable students to engage critically with youth culture, which is largely shaped by gender ideals in Japan. In class, students will discuss gender norms and how young people reinforce or resist these norms by consuming popular culture. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 教科書等                    | 教科書は使用しません。課題図書はすべて Google Classroom からダウンロード可能です。<br><br>We will not use a textbook. Students can download all assigned readings from Google Classroom                                                                                                                                                                                                                                                |

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   | <p>参考書<br/> ISBN: 9781032082264<br/> 書名: The Routledge companion to gender and Japanese culture<br/> 著者名: Edited by Jennifer Coates, Lucy Fraser, and Mark Pendleton<br/> 出版社: Routledge 出版年: 2021</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>授業内容とその進め方</p> | <p>この授業では、ジェンダー役割に関連する日本の若者文化に関する人類学的な視点を分析します。授業の前半では、ジェンダー平等、LGBT、セクシャルハラスメントなど、ジェンダー問題の理論的枠組みについて議論します。政府、社会、家族、個人がこれらの問題にどのように対応しているかを調査します。授業の後半では、ユースカルチャー、すなわちアイドル文化、理想の体型、美意識に関連するケーススタディに焦点を当てます。若者がジェンダーの理想を表現するためにどのようにこれらの文化を利用しているかについて話し合います。</p> <p>第1回 はじめに（毎週の課題とレポートの書き方の説明）<br/> 第2回 職場と政治におけるジェンダー平等<br/> 第3回 家庭におけるジェンダー平等<br/> 第4回 ジェンダーと戸籍：夫婦別姓<br/> 第5回 ジェンダーと戸籍：無国籍問題、同性婚<br/> 第6回 LGBT 関連<br/> 第7回 セクシャルハラスメントと男女雇用機会均等法<br/> 第8回 性暴力と刑法<br/> 第9回 アイドルとマンガ文化<br/> 第10回 児童ポルノと表現の自由<br/> 第11回 理想の体型、ダイエット、摂食障害<br/> 第12回 美意識、ジェンダーレスファッション<br/> 第13回 まとめ：ジェンダーと現代文化<br/> 第14回 研究計画とデータ収集を提出<br/> 第15回 レポート提出</p> <p>The course will examine the anthropological perspective on Japanese youth culture in relation to gender roles. The first half of the course discusses theoretical frameworks for gender issues, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment. We examine how the government, society, family and individuals address these issues. The second half of the course focuses on case studies related to youth culture, namely idol culture, the body and beauty ideals. We discuss how young people use this culture to represent their gender ideals.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction (guidance on weekly assignments and writing a report)</li> <li>2. Gender gaps in the workplace and politics</li> <li>3. Gender inequality in the family</li> <li>4. Gender and the family registration system: Shared family names</li> <li>5. Gender and the family registration system: Stateless children, same-sex marriage</li> </ol> |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | 6. LGBT issues in Japan<br>7. Sexual harassment and the Equal Employment Opportunity Law<br>8. Sexual assault and penal codes<br>9. Idol/manga culture<br>10. Child pornography vs. freedom of expression<br>11. Body ideals, dieting/eating disorders<br>12. Beauty ideals, gender-neutral fashion<br>13. Summary: Gender and contemporary culture<br>14. Research plan, data collection<br>15. Report submission                                                                        |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>講師は毎週ディスカッションの論題を提供します。学生は毎週、授業前に課された文献に基づいて質問に答え、授業中に関連テーマについて討論します。学生は、文献を通じて授業で取り上げたテーマに関するデータをまとめ、授業最終週に1,500語のレポートを作成します。</p> <p>The instructor will provide a weekly discussion question. Students must answer the question based on the required readings prior to class, and discuss related topics in class on a weekly basis. Students will also collect data on a topic covered in class through readings, and write a 1,500-word report about it at the end of course.</p> |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>授業中の発言を含む、授業への積極的参加：25%<br/>         毎週の課題：25%<br/>         研究計画 5%、データ収集 5%、最終レポート 30%</p> <p>Active class participation, including class discussions (25%)<br/>         Weekly assignments (25%)<br/>         Research plan (5%), data collection (5%), writing a research report (30%)</p>                                                                                                                                                                                          |
| <b>オフィスアワー：<br/>授業相談</b>                  | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | <p>データの収集方法、分析方法などについては授業中に説明します。</p> <p>Methods including data collection and analysis will be explained in class.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>キーワード</b>                              | <p>日本、若者文化、ジェンダーとセクシャリティ、データ収集</p> <p>Japan, youth culture, gender and sexuality, data collection</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                    |      |                        |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：国際社会と地域 1<br>授業題目： インタラクティブ・グループワークを通してメンタルヘルスを学ぶ                                                                              |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title : Global Society and Local Society 1<br>Course Title : Exploring Mental Health Topics through Interactive Group Work |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                               | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>7/31, 8/2, 4, 1-5 限<br>1-5 periods (8:30-17:30)                                                                    | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 106 室 |
| 授業の方法        | 講義 Lecture                                                                                                                         | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                          |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                                |      |                        |
| 担当教員名        | 奥山 ルシンダ<br>OKUYAMA, Lucinda                                                                                                        |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                    |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                                |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a>  |      |                        |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>この集中講義は、人間の行動に興味のある学生、特にメンタルヘルスに関するトピックに興味をもつ学生を対象としています。</p> <p>メンタルヘルスに関する各トピックを TED-Ed を通じて学ぶとともに、他の学生との共同活動によるグループ発表やグループ・ディスカッション等を通して、英語によるコミュニケーション力、表現力および発言力の育成を目指していきます。</p> <p>This course is topic-based, with student-led sessions, group discussions, and class presentations. The lectures are based on TED-Ed content on mental health.</p> <p>This course is designed for students who are interested in human behaviour. If you enjoy learning about mental health topics this course is for you.</p> <p>Through guided discovery students will learn how to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• participate in student-led sessions</li> <li>• discuss research in a group setting</li> <li>• present research findings to the class</li> </ul> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 教科書等                    | なし、講義資料はクラスで配布します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | Handouts and reading materials will be provided in class.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 授業内容とその進め方 | <p>インポスター症候群、OCD、ナルシズム、PTSD、慢性ストレス、統合失調症について耳にしたことがありますか？世界中の何百万もの人々がこれらの症状を抱えながら生活をしているにもかかわらず、これらの症状はしばしば誤解されています。この集中講義では、これらの症状とその治療法について学びます。TED-Edを試聴し、クイズに答えていくことでメンタルヘルスに関する基礎知識を養っていきます。また、他の学生との共同活動のもと、クラス発表を行うことにより、各トピックにおける学習を深めていきます。</p> <p>第1回 講義の概要と説明<br/> 第2回 インポスター症候群<br/> 第3回 インポスター症候群に関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第4回 ダニングクルーガー効果<br/> 第5回 ダニングクルーガー効果に関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第6回 依存症<br/> 第7回 依存症に関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第8回 強迫性障害<br/> 第9回 強迫性障害に関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第10回 ナルシズム<br/> 第11回 ナルシズムに関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第12回 慢性ストレスと脳<br/> 第13回 慢性ストレスと脳に関するグループ・ワーク&amp;グループ・プレゼンテーション<br/> 第14回 心的外傷後ストレス障害<br/> 第15回 まとめ&amp;英語学習におけるリフレクション</p> <p>受講生の進度に応じて、コースプランの詳細が変更される場合があることを、あらかじめご了承ください。尚、最終試験はありません。</p> <p>Have you ever heard of imposter syndrome, OCD, narcissism, PTSD, chronic stress or schizophrenia? These conditions impact millions of people globally, yet are often misunderstood. In this course we will explore the symptoms and treatments of these conditions. We will do this through watching short TED-Ed animations that summarise each condition and complete short exercises to test our knowledge. Additionally, students will work together and lead the class in order to deeply engage with each topic.</p> <p>1: Introduction to the course and course logistics<br/> 2: Imposter Syndrome<br/> 3: Student-led session on Imposter Syndrome<br/> 4: The Dunning Kruger Effect<br/> 5: Student-led session on Dunning Kruger Effect<br/> 6: Addiction</p> |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>7: Student-led session on Addiction<br/> 8: Obsessive Compulsive Disorder<br/> 9: Student-led session on Obsessive Compulsive Disorder<br/> 10: Narcissism<br/> 11: Student-led session on Narcissism<br/> 12: Chronic Stress and the Brain<br/> 13: Student-led session on Chronic Stress and the Brain<br/> 14: Post-Traumatic Stress Disorder<br/> 15: Course conclusion, review and reflection</p> <p>Please note that the course plan is subject to change according to students' progress and there will be no final exam.</p> |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>受講生は講義への準備として、課題・宿題をこなすことが求められ、クラスでのグループ・プレゼンテーション用にノートパソコン又はタブレット等が必要となります。この講義の使用言語は英語のみです。</p> <p>Students are expected to do homework assignments before coming to class and will need a laptop/tablet in class for student-led sessions. This course will be taught in English only</p>                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>・クラスへの参加度と宿題 30%<br/> ・グループ・プレゼンテーション (6回分) 70%</p> <p>・Class participation and homework 30%<br/> ・Student-led group sessions (6 group presentations) 70%</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | glip@tufts.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | <p>この集中講義では、内容の濃いグループ・ディスカッションをおこなえるように、ひとクラス 30 人以内と学生人数を制限しています。抽選方式 (希望学生数が 30 名以上の場合)</p> <p>宿題はオンライン・プラットフォームに投稿され、授業にてディスカッションを行います。</p> <p>Due to the nature of this course, class size is limited to approximately 30 students to allow quality group discussions. Students will be selected based on a lottery system.</p> <p>Homework will be posted online via an online platform and discussed in class.</p>                                                                                                                |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>キーワード</b>                              | <p>心理学、メンタルヘルス、人間行動</p> <p>Psychology, Mental Health, Human Behaviour</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

令和5年度 3大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：教養としての言語学2<br>授業題目：スピーチ・コミュニケーション                                                                                             |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Linguistics for Everyone 2<br>Course Title: Speech Communication                                                   |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 秋学期 Fall<br>木曜日 3 限<br>Thu. 3rd period (12:40-14:10)                                                                              | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 109 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | 岡田 昭人<br>OKADA, Akito                                                                                                             |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>主題および達成目標: この授業は、学生が母語話者と様々な話題について流暢な文体を自在に使いこなして会話できるようになることを目指す。そのため、学生はあらゆる状況（葬儀、結婚式など）でのスピーチを行う。またプレゼンテーションや日本語で行われる講義を聞きながらノートを取る訓練なども行われる。この授業にはスピーチやディベートを行うことによる計画された文化的背景も取り入れられる。</p> <p>The purpose of this course is designed to teach students to converse fluently with native speakers on a variety of subjects with a full command of speech levels. To achieve this goal, students will make speeches in various situations (funerals, marriage ceremonies, etc.). Advanced training in such skills as oral presentations and note-taking while listening to lectures conducted in Japanese will also be included. In short, this course will include planned culture context through the conduction of speeches and debates.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教科書等                    | プリントおよび自宅での学習用の参考文献リストを授業中に配布する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | Printed materials will be distributed at the lectures along with a list of recommended literature for home reading.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 授業内容とその進め方 | <p>それぞれの学生は毎週3分ほどのスピーチを日本語で行う。スピーチ後に3名の日本語母語話者の学生により、コミュニケーション能力を高めるための書面による評価が行われる</p> <p>第1回 オリエンテーション<br/> 第2回 友達紹介<br/> 第3回 選挙スピーチ<br/> 第4回 選挙スピーチ①<br/> 第5回 選挙スピーチ②<br/> 第6回 選挙スピーチ③<br/> 第7回 CM制作<br/> 第8回 CM制作①<br/> 第9回 CM制作②<br/> 第10回 CM制作③<br/> 第11回 スピーチ<br/> 第12回 スピーチ<br/> 第13回 スピーチ<br/> 第14回 ALH1 英語でディスカッション<br/> 第15回 ALH1 CM制作</p> <p>Each student is required to present a speech in Japanese each week (approximately 3 minutes in length), which will be assessed by a panel consisting of three native Japanese speakers. At the end of each speech the student will be given written suggestions from the panel on how to improve their communication abilities.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Orientation</li> <li>2. Introduce your friend (student presentation: each student introduces your class mate)</li> <li>3. Election Speech (instruction for election speech)</li> <li>4. Election Speech1 (student presentation: each student makes a campaign speech)</li> <li>5. Election Speech2 (student presentation: each student makes a campaign speech)</li> <li>6. Election Speech3 (student presentation: each student makes a campaign speech)</li> <li>7. Making CM (instruction: how to make CM)</li> <li>8. Making CM1 (student presentation: each student makes a commercial and show it)</li> <li>9. Making CM2 (student presentation: each student makes a commercial and show it)</li> <li>10. Making CM3 (student presentation: each student makes a commercial and show it)</li> </ol> |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | 11. Speech without preparation1 (each student makes a speech without preparation.)<br>12. Speech without preparation2 (each student makes a speech without preparation.)<br>13. speech without preparation3 (each student makes a speech without preparation.)<br>14. ALH1 Discussion in English (between the 6th and 7th)<br>15. ALH1 Making CM(between the 10th and 11th) To improve speech and creativity through AL. |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | 予習・復習を行うこと。<br><br>Do pre and after study.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | ALH 20%<br>毎週のプレゼンテーション 30%<br>ディスカッションへの参加 20%<br>中間・期末プロジェクト 30%<br><br>ALH 20%<br>Weekly presentation 30%<br>Discussion participation 20%<br>Mid-term and Final project 30%                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>キーワード</b>                              | スピーチ<br><br>speech                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：歴史の中の日本を知る 2<br>授業題目：近現代日本史概説                                                                                                 |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Japanese History 2<br>Course Title: Topics in Modern Japanese History                                   |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 秋学期 Fall<br>金曜日 2 限<br>Fri. 2nd period (10:10 – 11:40)                                                                            | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 307 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | 木村 正美<br>KIMURA, Masami                                                                                                           |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | このクラスでは、明治期から昭和期までの近現代日本史を英語で学びます。その知識を深め、英語の語彙を増やし、また史的分析・解釈力を伸ばすことを主目的としています。<br><br>In this class, we will learn a modern history of Japan (from the Meiji to the Showa periods) in English. You can increase your general knowledge and English vocabulary of modern Japanese history and improve your skills in historical analysis and interpretation. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 教科書等                    | 教科書: 抜粋したテキストをクラスで使用します (別途指示)。<br>Selected readings will be provided in class.<br><br>参考書:<br>ISBN: 9780618914944<br>書名: A Brief History of Chinese and Japanese Civilizations<br>著者名: Conrad Schirokauer ... [et al.]                                                                                                                                      |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | <p>出版社: Harcourt Brace Jovanovich<br/>         出版年: 2006</p> <p>備考: 使い慣れた英語＝日本語・母国語辞典や英英辞典を持参して下さい。同義語辞典も役立ちます。</p> <p>Bring your own English-Japanese/ your mother tongue and English-English dictionaries; a Thesaurus would be useful, too.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p><b>授業内容とその進め方</b></p> | <p>授業の概要<br/>         このクラスは、19 世紀半ばから 1970 年代までの日本史概説です。この間、日本は半封建・半中央集権的国家から統一された近代的国民国家へと変化を遂げますが、その近代化の過程において、対外的には帝国主義の道に進み、対内的には権威主義支配と民主化、自由と権利の拡大という相反する政治・社会的要求への対応に苦闘していきます。第二次世界大戦での敗戦後も、日本は「近代化」を追求し続け、経済的にはより豊かで、また自由で民主的な社会へと発展を遂げますが、このジレンマは続き、さまざまな問題に直面し続けます。近現代日本における政治、社会経済、思想文化的発展を追いながら、これらのテーマについて考え理解を深めていきます。</p> <p>第 1 回 クラスの概要、自己紹介<br/>         第 2 回 開国<br/>         第 3 回 明治維新<br/>         第 4 回 近代政治機構の成立<br/>         第 5 回 明治社会と経済<br/>         第 6 回 帝国主義への道<br/>         第 7 回 中間試験<br/>         第 8 回 大正デモクラシー<br/>         第 9 回 1920 年代 - 30 年代：戦時体制へ<br/>         第 10 回 アジア・太平洋戦争<br/>         第 11 回 連合国日本占領<br/>         第 12 回 戦後政治・社会 y<br/>         第 13 回 期末試験<br/>         第 14 回 ALH1: 一次史料講読（「福翁自伝」の一部）：第 5 回で使用（ディスカッションに備えること）<br/>         第 15 回 ALH2: 一次史料講読（講和・安保問題や市民活動に関する一次史料）：第 11 回で使用（ディスカッションに備えること）</p> <p>※ 注）初回の授業に参加していない学生は履修することはできない。</p> <p>This course reviews Japanese history from the mid-1800s to the 1970s. During this period, Japan developed from a semi-feudal, semi-centralized entity to a unified modern nation-state; but in the process of modernization, Japan transformed itself into an imperialist power outwardly; inwardly, it struggled to deal with two contradictory political and social dictates – the</p> |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>need for authoritarian control and aspirations of liberalism. After the defeat in WWII, Japan evolved through further transformation to become a richer, and more democratic, more liberal society, but the Japanese kept facing the same dilemma and various problems occurring from their continuous search for modernity. We will look at interrelated political, socio-economic, and intellectual-cultural developments during these periods and deepen our understanding of critical themes in modern Japanese history.</p> <p>1: Introduction, Overview of the Syllabus<br/> 2: Opening of Japan<br/> 3: Meiji Restoration<br/> 4: Establishment of a Modern Political System<br/> 5: Meiji Society and Economy<br/> 6: Imperialism and Empire-Building<br/> 7: Midterm Exam<br/> 8: Taisho Democracy<br/> 9: 1920-30s: Toward a Wartime Regime<br/> 10: Asia-Pacific War<br/> 11: Allied Occupation of Japan<br/> 12: Postwar Politics and Society<br/> 13: Final Exam<br/> 14 ALH1: Primary-Source Reading (portions of The Autobiography of Yukichi Fukuzawa) for Week #5; be prepared for class discussion<br/> 15 ALH2: Primary-Source Reading (writings on peace and security issues and citizens' activism) for Week #11; be prepared for class discussion</p> <p>* Notes: Those who do not attend the class on Day #1 cannot join this class.</p> |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>リーディング課題がほぼ毎週あります。授業には、必ず課題をすべて終わらせてから参加して下さい。</p> <p>There is a reading assignment almost every week. Students are expected to show up in class with all the homework done.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>参加度 15%<br/> クイズ 20% (2.5% x 8)<br/> 中間試験 30%<br/> 期末試験 35%</p> <p>クイズでは、リーディング課題および講義内容を理解しているか、語彙習得をしているかをチェックをします。中間・期末試験では、設問に対し、英語のアカデミックライティングのルールに則り、パラグラフあるいはエッセイ形式で記述回答してもらい、講義の理解度・語彙習得度を測ります。内容のほか、英語のライティング力も評価されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | <p>Participation 15%</p> <p>Quizzes 20% (2.5% x 8)</p> <p>Midterm Exam 30%</p> <p>Final Exam 35%</p> <p>Quizzes are assigned to check students' understanding of the lectures and assigned readings and their acquisition of new vocabulary. With two exams, students need to demonstrate those in a paragraph-writing or multi-paragraph essay-writing form, following the basic rules of academic English writing. Not only the content but also their English writing ability will be evaluated.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b> | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>学生へのメッセージ</b>         | <p>出席は「オプション」ではありません。学生は毎週授業に参加することが求められています。しかし、どのような理由であれ、2回までの欠席は罰則なしで許されますが、3回目以降は、欠席する毎にクラス成績から10%減点します。また、6分から30分までの遅刻は、2回で欠席1、30分を超える遅刻は欠席1とみなします。もし2回とも正当な理由（例 事故、感染症、入院、宗教的祭日）での欠席であれば、講師に（準）公的文書を提出し、補習等の相談をして下さい。</p> <p>Attendance is not an option; students are expected to always be in class. However, up to 2 absences are allowed for whatever reasons without a penalty; after that, a letter grade (10%) will be deducted from your course grade per absence. Also, if you show up 6-30 min. late twice, it will be counted as 1 absence; coming late more than 30 min. will be equivalent to 1 absence. If you are unable to attend class more than two times all for legitimate reasons – such as a car accident, disease infection, hospitalization, and religious holidays, you should provide the instructor with (semi-)official documentation and discuss make-up opportunities with her.</p> |
| <b>その他</b>               | <p>授業は英語で行います。</p> <p>This class is taught in English.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>キーワード</b>             | <p>日本史、近代化・近代、明治、大正、昭和、帝国主義、帝国、戦争、占領、民主主義・民主化、憲法、平和・安保</p> <p>Japanese history, modernization/modernity, Meiji, Taisho, Showa, imperialism, empire, war, occupation, democracy/democratization, constitution, peace/security</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：歴史の中の日本を知る 2<br>授業題目：現代日本社会における高齢化と公共政策                                                                                       |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Japanese History 2<br>Course Title: Aging and Public Policies in Contemporary Japan                     |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 秋学期 Fall<br>金曜日 2 限<br>Fri. 2nd period (10:10 – 11:40)                                                                            | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 211 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | ヤン ズィー<br>YAN, Zi                                                                                                                 |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>1. 日本の高齢化社会の歴史的、社会的、経済的、政治的文脈を理解することができます。</p> <p>2. 高齢者社会福祉政策を批判的に分析し、評価します。</p> <p>1. Understand the historical, social, economic, and political context of Japan's aging society.</p> <p>2. Critically analyze and evaluate the social welfare policies that have been developed in Japan to address the needs of older adults.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 前もって履修しておくこ<br>とが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 教科書等                    | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 授業内容と<br>その進め方          | <p>日本が現在直面している少子高齢化、比較的貧しい人々の増加、所得格差の拡大化進行といった社会変化の現状と課題について概観します。その上で、このような課題に直面する中で、生活保障のあり方を、「家族」、「地域」、「企業・市場」、「政府」のそれぞれの役割から展望します。</p> <p>コースは大きく 2 つのパートに分かれています。パート I では、「現代公共政策における理論的な視点」を紹介し、公共政策とは何か、政策形成過程につ</p>                                                                                                               |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>いて、深く理解を深めます。パートⅡでは、学生たちは日本の高齢化社会の歴史的、社会的、経済的、政治的文脈を探究し、高齢者のニーズに対処するために導入された社会福祉政策を批判的に分析します。また、日本の高齢化社会が社会福祉政策に対してもたらす課題や機会を検討し、日本における高齢化と社会福祉政策に対する革新的なアプローチを探究します。</p> <p>第1週：授業のスケジュールの説明<br/> 第2週：公共政策とは何か？<br/> 第4週：政策形成過程（高齢者インタビューを開始し、期末レポートを準備します）<br/> 第5週：日本の高齢化社会の人口動向と社会・経済・政治的な文脈<br/> 第6週：日本の家族関係と生活環境<br/> 第7週：日本の態度と社会的なトレンド(中間レポート締切日は11月17日です)-ALH1<br/> 第8週:日本のインフォーマル介護者と介護負担s):(グループを組んでグループプレゼンテーションの準備を始めます。異なる学部や大学からのメンバーで構成されることをお勧めします。)<br/> 第9週目：日本の医療と介護<br/> 第10週目：アクティブ・ラーニング：学生グループディスカッション&amp;プレゼンテーション 中間レポートに基づいてグループプレゼンテーションを行います（12月8日に発表します）-ALH2<br/> 第11週：日本の社会支援と地域ケア<br/> 第12週：日本の成年後見制度<br/> 第13週：日本の仕事と退職、年金制度<br/> 第14週：日本の移民政策<br/> 第15週：テクノロジーと高齢社会</p> <p>This course provides an overview of the various challenges faced by Japan, including a hyper-aging and declining population, rising numbers of relatively poor, and growing income inequalities. We will also discuss how to ensure basic living standards amidst the aforementioned challenges from the perspectives of “family,” “community,” “business and market,” and “government.”</p> <p>The course consists of two major parts. Part I introduces you to the “theoretical lenses to contemporary public policy”, we will develop an in-depth understanding of what public policy is and how policy is shaped. In Part II, students will explore the historical, social, economic, and political context of Japan's aging society and critically analyze the social welfare policies that have been implemented to address the needs of older adults. The course will also examine the challenges and opportunities that Japan's aging society presents for social welfare policy and explore innovative approaches to aging and social welfare policy in Japan.</p> <p>Week 1: Course Orientation<br/> Week 2: What is public policy?<br/> Week 3: Official/unofficial actors and their roles in public policy</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                         | <p>Week 4: Public policy process (Please start to interview an older adult and prepare your midterm report)</p> <p>Week 5: Demographic trends and social, economic, and political context of Japan's aging society</p> <p>Week 6: Family relationships and Living arrangements in Japan</p> <p>Week 7: Attitudes and social trends in Japan (submit a midterm report on November 17th) - ALH1</p> <p>Week 8: Informal caregivers and caregiver burden issues in Japan: (Form a group and start to prepare your group presentation. It is highly recommended that group members come from different majors or universities)</p> <p>Week 9: Healthcare and Long-term care in Japan</p> <p>Week 10: Active learning - Student group discussion &amp; presentation: Students will make a group presentation based on their midterm report (Present on December 8th) - ALH2</p> <p>Week 11: Social support and community-based care in Japan</p> <p>Week 12: Adult guardianship system in Japan</p> <p>Week 13: Work and retirement and pension system in Japan</p> <p>Week 14: Migration policy in Japan</p> <p>Week 15: Technologies and aging society</p> |
| <p><b>授業時間外の学習</b><br/>(予習・復習等)</p>                     | <p>1. 65 歳以上の高齢の家族や友人をインタビューし、介護に関する態度や支援体制についての中間レポートを提出します (A4 版 1 枚以内)。</p> <p>2. グループでの研究プロジェクトに参加し、グループでプレゼンテーションを行います。</p> <p>3. インタビューした高齢者と現在の介護政策について分析し、期末レポートを提出します (A4 版 2 枚以内)。</p> <p>1. Students will interview an older family member or friend (at least 65 years old) and write a mini-midterm report (within 1 sheet of A4 paper) about their eldercare attitudes and arrangements.</p> <p>2. Students will engage in a group research project and present an in-class group presentation together.</p> <p>3. Students will write a final report (within 2 sheets of A4 paper) by reflecting on the interview of an older adult interviewed and the current eldercare policies.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>成績評価方法</b><br/><b>および評価基準</b><br/>(最低達成基準を含む)</p> | <p>出席率 20%</p> <p>中間レポート-ALH1 20%</p> <p>グループプレゼンテーション-ALH2 10%</p> <p>期末レポート 40%</p> <p>Participation &amp; Engagement 20%</p> <p>Midterm report - ALH1 20%</p> <p>Group Presentation -ALH2 10%</p> <p>Final report 40%</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p><b>オフィスアワー:</b></p>                                  | <p>glip@tufs.ac.jp</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業相談             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>学生へのメッセージ</p> | <p>1. このコースでは、コースの読書、動画、課題を共有するために Google Classroom を使用します。Google Classroom にアクセスするには、学生は Google アカウントを登録する必要があります。</p> <p>2. コンテンツや課題に関する質問や困難がある場合は、遠慮なく私に連絡してください。</p> <p>1. This course will use Google Classroom to share course readings, videos, and assignments. Students may need to register a google account to access the Google Classroom.</p> <p>2. If you have any difficulty or questions about the content and assignment, please do not hesitate to contact me.</p> |
| <p>その他</p>       | <p>この授業は、英語のみによる講義に慣れていない学生向けに、より平易な英語で開講されます。成績は原則英語力ではなく、授業への取り組みによって評価されます。</p> <p>This course is taught in simpler language than regular lectures in English. It is especially recommended to students who are not familiar with lectures taught in English only. Student performance is assessed by its content rather than the English language level.</p>                                                                                                                      |
| <p>キーワード</p>     | <p>高齢化、公共政策、日本</p> <p>Aging, Public Policies, Japan</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                   |      |                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------|
| 授業科目名        | 科目名：歴史の中の日本を知る 2<br>授業題目：英語で読む現代日本の短編小説                                                                                           |      |                        |
| 英文授業科目名      | Subject Title: Aspects of Japanese History 2<br>Course Title: Contemporary Japanese Short Stories in English                      |      |                        |
| 開講年度         | 2023                                                                                                                              | 開講年次 | 1, 2, 3, 4             |
| 開講学期、日にち、時限  | 秋学期 Fall<br>月曜日 4 限<br>Fri. 4th period (14:20 – 15:50)                                                                            | 開講場所 | 東京外国語大学<br>研究講義棟 101 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                     | 単位数  | 2                      |
| 科目区分         | 世界教養プログラム<br>Global Liberal Arts Subjects                                                                                         |      |                        |
| 開講学科・専攻      | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 担当教員名        | 中上 紀<br>NAKAGAMI, Nori                                                                                                            |      |                        |
| 居室           | 東京外国語大学研究講義棟 4 階 412 室 GLIP デスク                                                                                                   |      |                        |
| 公開 E-Mail    | n/a                                                                                                                               |      |                        |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/">http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/program/glip/</a> |      |                        |

講義情報

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標      | <p>英語に翻訳され、海外に紹介された日本の現代短編小説を読み、語り、書くことで、以下に到達することを目標とします。</p> <p>1) 昭和後期以降の著者に探求された“日本”について英語で議論できる。</p> <p>2) 翻訳され、海外に紹介されたことの意味を理論的および実践的に理解する。</p> <p>3) 議論された内容に関連するテーマでエッセイや小説などの文章を執筆することができる。</p> <p>Through reading, talking, and writing about contemporary Japanese short stories that have been translated into English and introduced to other countries, the course aims to achieve the following</p> <p>(1) To be able to discuss in English "Japan" as explored by authors from the late Showa period onward.</p> <p>(2) Understand theoretically and practically the meaning of what has been translated and introduced to the rest of the world.</p> <p>(3) To be able to write essays, novels, and other texts on themes related to what has been discussed.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前もって履修しておくこ        | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| とが望ましい科目   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科書等       | <p>参考書<br/>ISBN: 024131190X<br/>書 名: The Penguin book of Japanese short stories<br/>著者名: introduced by Haruki Murakami ; edited and with notes by Jay Rubin<br/>出版社: Penguin Books<br/>出版年: 2019</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 授業内容とその進め方 | <p>この授業では昭和後期以降の日本の作家の短編小説を英語の翻訳で読み、文学の視点から現代日本の「今」を深く探求します。作品を読み味わうだけではなく、学生間での意見の交換、そして文章による表現や創作などのプロセスを大切に、評価の要素としていきます。文学を通じて国際的な視点から「日本」を見つめ、新たな「面白い日本」を発見します。</p> <p>第1回 授業の説明（人数によってはグループ分け含む）自己紹介等 講義：日本の文学を英語で読むことについて</p> <p>第2回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「山姥の微笑」大場みな子（英訳：水田宗子）</p> <p>第3回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「マーガレットは植える」松田青子（英訳：Angus Turvill）</p> <p>第4回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「ハチハニー」吉本ばなな（英訳：Michael Emmerich）</p> <p>第5回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「虫」青来有一（英訳：Paul Warham）</p> <p>第6回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「日和山」佐伯一麦（英訳：David Boyd）</p> <p>第7回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「今まで通り」佐藤友哉（英訳：Rachel DiNitto）</p> <p>第8回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「ピンク」星野智幸（英訳：Brian Bergstrom）</p> <p>第9回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「砂糖で満ちてゆく」澤西祐典（英訳：Jay Rubin）</p> <p>第10回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。<br/>・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「愛の夢とか」川上未映子（英訳：由尾瞳）</p> <p>第11回 ・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行</p> |

う。・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「箱の中」河野多恵子（英訳：Jay Rubin）

第 12 回・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。・議論されたことを元に指定されたテーマでエッセイを執筆。・使用するテキスト：「アメリカひじき」野坂昭如（英訳：Jay Rubin）

第 13 回・読了したテキストについて講義をし、その後ディスカッションを行う。・議論されたことを元に指定されたテーマでショートショート小説を執筆。・使用するテキスト：「焰」津島佑子（英訳：Geraldine Harcourt）

第 14 回/ALH1 ALH(1) および ALH(2) については、次のいずれかを選択し、作業をしてください。（提出する文章の長さは 5～10 ページ程度となります）A) この授業で議論されている著者の活動および関連するさまざまな作品(映画やその他のフィクションまたはノンフィクション作品を含む)を調査し、レポートまたはエッセイを作成します。B) 短編小説を自由に書く。（講義やディスカッションからアイデアを自由に取り入れてください）

第 15 回/ALH2 ALH(1) および ALH(2) については、次のいずれかの問題を選択し、作業をしてください。（論文は 5～10 ページ程度です）A) この授業で議論されている著者の活動および関連するさまざまな作品(映画やその他のフィクションまたはノンフィクション作品を含む)を調査し、レポートまたはエッセイを作成します。B) 短編小説を自由に書く。（講義やディスカッションからアイデアを自由に取り入れてください）

In this class, students will read short stories by Japanese authors from the late Showa period onward, translated into English, to deeply explore the “now” of contemporary Japan from a literary perspective. Students will not only read and savor the works, but also value the exchange of opinions among students and the process of written expression and creative writing, which will be a factor in evaluation. Through literature, students will look at “Japan” from an international perspective and discover a new “interesting Japan”.

#1: Explanation about this class (including grouping depending on the number of students) Self-introduction

Lecture: Reading and writing Japanese literature in English

#2: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used: “The Smile of a Mountain Witch” Ohba Minako Translated by Noriko Mizuta

#3: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used: “Planting” Matsuda Aoko Translated by Angus Turvill

#4: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used: “Bee Honey” Yoshimoto Banana Translated by Michael Emmerich

#5: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text

|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                     | <p>to be used; "Insects" Seirai Yuichi Translated by Paul Warham</p> <p>#6: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Weather-Watching Hill" Saeki Kazumi Translated by David Boyd</p> <p>#7: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Same as Always" Sato Yuya Translated by Rachel DiNitto</p> <p>#8: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Pink" Hoshino Tomoyuki Translated by Brian Bergstrom</p> <p>#9: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Filling Up with Sugar" Sawanishi Yuten Translated by Jay Rubin</p> <p>#10: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Dreams of Love, Etc." Kawakami Mieko Translated by Hitomi Yoshio</p> <p>#11: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "In the Box" Kōno Taeko Translated by Jay Rubin</p> <p>#12: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write an essay on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "American Hijiki" Nosaka Akiyuki Translated by Jay Rubin</p> <p>#13: Lecture on the texts read, followed by discussion. The students will write a short story on a specified theme based on what has been discussed. The text to be used; "Flames" Tsushima Yuko Translated by Geraldine Harcourt</p> <p>#14/ALH1: Select one of the following issues for ALH① and ALH②. (Your paper should be 5 to 10 pages.) A) Research the activities of any authors discussed in this class and various related works (including movies and other fiction or non-fiction works), and write a report or an essay. B) Write a short story freely. (Feel free to take some ideas from the lectures or discussions)</p> <p>#15/ALH2: Select one of the following issues for ALH① and ALH②. (Your paper should be 5 to 10 pages.) A) Research the activities of any authors discussed in this class and various related works (including movies and other fiction or non-fiction works), and write a report or an essay. B) Write a short story freely. (Feel free to take some ideas from the lectures or discussions)</p> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p> | <p>事前学習では課題文を読み、作者や関連作品について調べておきます。事後学習は、議論した内容をノートにまとめ、必要な情報を調べ追加します。また、授業で書いた文章を仕上げることを推奨します。テキストは授業終了時に提出となりますが、提出前に自分の記録用に写真を撮ることは可能です。以上、事前・事後学習で少なくとも合計4時間の学習が必要です。</p> <p>For preview, students should read the assigned text and research the author</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | and related works. For review, summarize the discussion in a notebook and research and add necessary information. It is also recommended that students finish the written text written in the class. The text must be submitted at the end of the class, but students may take pictures of the text for their own records before submission. The above requires a total of 4 hours at least of pre- and post-study.                                                                                                                                                                                               |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>各セッションでのディスカッション (35%) と文章執筆への取り組み (35%) が評価の対象となります。文章 (エッセイまたはショートショート) は、各クラスの最後に提出します。ALH①②の取り組み (20%) も評価されます。学期末には、オプションで短編小説の提出があります。</p> <p>The evaluation will focus on the discussion (35%) and writing efforts (35%) at each session. A written piece of work (essay or short short) will be due at the end of each class. ALH efforts will also be evaluated. (30%) There is an optional short story submission at the end of the semester.</p>                                                                                                                                                    |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | glip@tufs.ac.jp                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | <p>各授業では、英訳された日本の短編小説を1つ読み、ディスカッションします。人数が多い場合は、グループに分かれて議論します。取り上げる作品は授業の前週に配布しますので、必ず読んでから参加してください。また、毎回の授業で短編小説やエッセイを執筆します。その他、必要に応じてビデオ鑑賞なども取り入れる場合があります。</p> <p>Each class will read and discuss one Japanese short story translated into English. If there is a large number of students, we will break into groups for discussion. The work to be discussed will be distributed the week before class, so please be sure to read it before participating. In addition, students will write a short story or essay in each class. Other activities such as video viewing may be incorporated as needed.</p> |
| <b>その他</b>                                | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>キーワード</b>                              | <p>文学、社会、現代日本、書くこと</p> <p>Literature, Society, Contemporary Japan, Writing</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                     |      |                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|
| 授業科目名        | Global Communication                                                                |      |                                                   |
| 英文授業科目名      | Global Communication                                                                |      |                                                   |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY 2023                                                                  | 開講年次 | 1-4 年次<br>1 <sup>st</sup> - 4 <sup>th</sup> grade |
| 開講学期、日にち、時限  | 2 学期 (8/2, 3, 4) 各 1-3 限<br>2 <sup>nd</sup> term (2, 3, 4 Aug.) 1-3 period          | 開講場所 | 小金井キャンパス<br>Koganei Campus                        |
| 授業の方法        | 講義及びディスカッション<br>Lecture and Discussion                                              | 単位数  | 1 単位<br>1 credit                                  |
| 科目区分         | 3 大学連携特別講義ⅠまたはⅡ<br>Multidisciplinary Courses                                        |      |                                                   |
| 開講学科・専攻      | 全学科対象<br>Open to all Courses                                                        |      |                                                   |
| 担当教員名        | 堀切友紀子<br>HORIKIRI, Yukiko                                                           |      |                                                   |
| 居室           | 小金井 13 号館 504 室<br>Koganei-campus, Building No.13, 5 <sup>th</sup> Floor, Room #504 |      |                                                   |
| 公開 E-Mail    | 該当なし<br>N/A                                                                         |      |                                                   |
| 授業関連 Web ページ | 該当なし<br>N/A                                                                         |      |                                                   |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>本コースでは、国際的な環境で活躍する人材となるべく必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。場面やシーンに合わせたコミュニケーションの特徴や、コミュニケーションの背景にある様々な要因について、具体的な事例をもとにクラスメートとのディスカッションを通して考える。普段当たり前だと思っていることに対して疑問を持ち、その要因・課題を整理したうえで適切なコミュニケーション能力を身につけるための視点を獲得することを目指す。</p> <p>本科目は、グローバル展開科目 Multidisciplinary Courses の英語による科目として開講され、また、三大学連携特別講義として東京外国語大学、電気通信大学の学生も履修することができる。</p> <p>1) 自身がとっているコミュニケーション行動の目的や種類、特徴、それらの影響要因について客観的に意識できるようになる。<br/>2) 自身を取り巻く国際的視点を含む状況を適切に把握し、それにふさわしいコミュニケーションをとるために必要なことを自ら考えて実践できるようになる。</p> <p>主な目標(科目別目標一覧対応):<br/>国際感覚○、知の開拓能力○、コミュニケーション○、プレゼンテーション○</p> |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <p>This course explores what is the appropriate and effective communication in a global society. By examining the communication used in specific social contexts, the students observe and analyze their own communication. The course includes group work and activities to share their thoughts and experiences.</p> <p>This course is offered in English as one of the Multidisciplinary Courses of the Global Integrated Studies, and is open to students from Tokyo University of Foreign Studies and the University of Electro-Communications.</p> <p>1.To develop awareness of own communication including its purpose, variety, feature, and effect factors.<br/>2. To develop the new perspective for understanding our global society</p> <p>Competency development:<br/>Global awareness, Intercultural communication skills, Presentation skills</p> |
| 前もって履修しておくべき科目      | 該当なし<br>N/A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | 該当なし<br>N/A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 教科書等                | パワーポイントスライド及び配布資料<br>PPT slides and Handout in class                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 授業内容とその進め方          | <p>2023 年 8 月 2 日(水)1-3 限 (9:00-14:30)<br/>第 1 回 オリエンテーション コミュニケーションとは<br/>第 2 回 コミュニケーション(1) 種類・スタイル<br/>第 3 回 コミュニケーション(2) 影響要因, 自己理解</p> <p>2023 年 8 月 3 日(木)1-3 限(9:00-14:30)<br/>第 4 回 意識化 (1) 客観的把握<br/>第 5 回 意識化 (2) 価値観、カテゴリー化<br/>第 6 回 異文化コミュニケーションスキル</p> <p>2023 年 8 月 4 日(金)1-2 限(9:00-12:00)<br/>第 7 回 プレゼンテーション<br/>第 8 回 まとめ</p> <p>1-3 period (9:00-14:30) of 2 August 2023 (Wednesday)<br/>1. Orientation: What is Communication?<br/>2. Communication #1 -Variety and Style<br/>3. Communication #2 -Effect Factors, Self-understanding</p> <p>1-3 period (9:00-14:30) of 3 August 2023 (Thursday)</p>                                                                                                                                                                                                                                        |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p>4. Consciousness #1 –Objective Comprehension<br/> 5. Consciousness #2 –Values, Categorization<br/> 6. Intercultural Communication Skills</p> <p>1–2 period (9:00–12:00) of 4 August 2023 (Friday)<br/> 7. Presentation<br/> 8. Summary</p> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | <p>授業時間 15 時間や課題エッセイ・プレゼンテーション準備時間計 30 時間を含めた、<br/> 本学の標準時間数に準ずる予習復習を行うこと<br/> You are to spend 15 hours in the class, and 30 hours in completing the essay task and<br/> presentation preparation.</p>                                       |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | <p>授業でのパフォーマンス(40%)、プレゼンテーション(40%)、課題 (20%)を総合的に判<br/> 断する。<br/> Grades are given based on 40% on class performance, 40% on oral presentation, and 20%<br/> on reports.</p>                                                                   |
| オフィスアワー:<br>授業相談                 | <p>メールにてアポイントを取ってください。(horikiri@go.tuat.ac.jp)<br/> Please make an appointment by email. (horikiri@go.tuat.ac.jp)</p>                                                                                                                         |
| 学生へのメッセージ                        | <p>積極的にディスカッションに参加してください。<br/> Active participation in discussion is expected in each class.</p>                                                                                                                                              |
| その他                              | <p>特になし<br/> N/A</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| キーワード                            | <p>コミュニケーション、客観的把握、国際感覚、多文化社会<br/> Communication, Objective comprehension, Global awareness, Multicultural Society</p>                                                                                                                        |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|                                    |                                                                                                                                                                                                                    |                                        |                                |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|
| 授業科目名<br>Course Title              | 上級生物学                                                                                                                                                                                                              |                                        |                                |
| 英文授業科目名<br>Course Title in English | Advanced Biology                                                                                                                                                                                                   |                                        |                                |
| 開講年度<br>Academic Year              | 2023.                                                                                                                                                                                                              | 開講年次<br>Year of Study                  | 1~3                            |
| 開講学期、<br>日にち、時限<br>Term            | 第3学期 月曜4限<br>3rd , Mon. 4                                                                                                                                                                                          | 開講場所<br>Faculty offering<br>the course | 東京農工大学府中キ<br>ャンパス 本館21<br>(予定) |
| 授業の方法<br>Teaching Styles           | Lecture                                                                                                                                                                                                            | 単位数<br>Credits                         | 2                              |
| 科目区分<br>Category                   | 教養科目 (Liberal Arts and Fundamental Studies)                                                                                                                                                                        |                                        |                                |
| 開講学科・専攻<br>Cluster / Department    | 全学科 (All departments)                                                                                                                                                                                              |                                        |                                |
| 担当教員名<br>Instructor (s)            | 古谷哲也 (農学部共同獣医学科) Tetsuya Furuya<br>Sabine Gouraud (国際基督教大学)<br>安村友紀 (グローバル教育院) Yuki Yasumura,                                                                                                                      |                                        |                                |
| 居室<br>Office                       | 新4号館251室 (古谷)、グローバル教育院 (安村)<br>New building 4-Room 251, Fuchu Campus (Furuya),<br>13th Building, Room507, Koganei Campus (Yasumura)                                                                                |                                        |                                |
| 公開E-Mail<br>Email                  | <a href="mailto:furuyat@cc.tuat.ac.jp">furuyat@cc.tuat.ac.jp</a> , <a href="mailto:yuki-yasumura@go.tuat.ac.jp">yuki-yasumura@go.tuat.ac.jp</a>                                                                    |                                        |                                |
| 授業関連Web ページ<br>Course Website      | <a href="https://spica.gakumu.tuat.ac.jp/Syllabus/DetailMain.aspx">https://spica.gakumu.tuat.ac.jp/Syllabus/DetailMain.aspx</a><br><a href="https://lms-2.tuat.ac.jp/moodle/">https://lms-2.tuat.ac.jp/moodle/</a> |                                        |                                |

講義情報

Course Information

|                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標<br>Course Goals and Objectives | <p>1. 細胞や分子レベルで生命活動を理解し、近代のバイオテクノロジーや分子生物学の応用技術の発展に関する知識を身につける。</p> <p>2. 生物、化学、医学、獣医学に関係したトピックについて英語で理解し、自身の興味を持つトピックについて英語で説明できる。</p> <p>1. To gain a fundamental understanding of 'life' at the cellular and molecular levels and to apply such knowledge in learning biotechnology and modern molecular techniques</p> <p>2. To understand updated interdisciplinary biological topics relating to chemistry, physics, medicine and veterinary medicine in English, and to be able to describe a topic of own interest in English</p> |
| 前もって履修                                       | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>しておくべき科目<br/>Prerequisites</p>                                          | <p>None</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>前もって履修しておくこ<br/>とが望ましい科目<br/>Recommended Course(s) / Subject(s)</p>     | <p>特になし<br/>None</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>教科書等<br/>Course Materials (Required<br/>Textbooks, Materials, etc.)</p> | <p>「キャンベル生物学」第11版。Campbell &amp; Reece “Biology” 11th ed.<br/>「細胞の分子生物学」第6版。Albert et al. “Molecular Biology of the Cell”</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>授業内容と<br/>その進め方<br/>Course Outline</p>                                  | <p>本科目では、生物学基礎とその応用技術を講義、演習、ディスカッションを通して学び、英語の知識と科学の知識を実践的に活用して分子生物学の理解と科学的思考を深めることを目指します。授業では細胞の生命活動、生命エネルギーの獲得と利用、ならびに遺伝情報伝達と利用の生物学的仕組みを分子レベルで解説します。そして、それぞれの現象が、日常生活を支える産業や先端技術、医学に応用されている実例を学び、そのメカニズムを理解します。</p> <p>In this course for fundamental biology and technological applications, it is required to utilise the knowledge of English language and science, and is therefore set at an advanced level in the general education curriculum. We will learn the structure and function of cells, the mechanism of energy production in cells, and the transfer and utilization of genetic information from nucleic acids, especially DNA, to biomolecules. We will then learn how such scientific phenomena and the knowledge are applied in industrial and biomedical technologies that support our traditional, modern and future lives. This lecture course includes interactive classes, discussion sessions and opportunities for presentation.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命体のエネルギー源としての糖と脂質。【演習】生命エネルギーの獲得を考える</li> <li>2. タンパク質と酵素。【演習】触媒反応をデザイン可能にする人工酵素を考える</li> <li>3. 無気呼吸と発酵のしくみ。【演習】無気呼吸の産業利用（発酵食品、バイオエタノール）を考える</li> <li>4. 有気呼吸とATP合成酵素。【演習】阻害剤による機構解明とその活用例を考える</li> <li>5. 光合成（1）：光エネルギーから化学エネルギーへの変換【演習】光化学系の進化を考える</li> <li>6. 光合成（2）：エネルギーの貯蔵のしくみ。【演習】光合成の産業利用（バイオプラスチック、植物製薬）を考える</li> <li>7. 細胞組織：健康な状態と病気の状態におけるオルガネラの構造と機能。そしてそれに関連する最先端技術。【演習】様々な生体試料に含まれる特定のタンパク質をどのように可視化するか</li> <li>8. 細胞膜：健康な状態と病気の状態における細胞膜の構造と機能。細胞膜のバイオテクノロジーにおける重要性。【演習】膜輸送体は、がん治療の新薬の標的とできるか</li> <li>9. 健康な状態と病気の状態における細胞シグナル伝達、シグナリング伝播経路の複雑さを解明するために使用された伝統的および新規の方法。【演習】変異タンパク質の利用は、細胞シグナル伝達機構の解明にどのように役立ったか</li> </ol> |

10. 有糸分裂と減数分裂：正常細胞におけるこれらのプロセスのメカニズムと、癌細胞における疾患の発生方法。【演習】データベースから遺伝子配列をダウンロードして研究用に保存する方法は？

11. 遺伝学の基礎：正常な細胞における遺伝情報の保存、複製、修復の仕組みと、がんや老化によって細胞に異常な機能が生じる仕組み。【演習】データベースから相同配列を見つけ出し、遺伝子配列同士を比較する方法。系統樹の描き方。

12. 遺伝子発現：正常細胞における遺伝情報に基づくタンパク質合成とバイオテクノロジーおよび医学への応用。【演習】遺伝子から遺伝子産物ポリペプチド配列を得る方法。ポリペプチド配列から遺伝子機能に関する情報を得る方法。

13. 遺伝子発現の制御：タンパク質の転写、翻訳、安定性など多段階の制御、発生と分化の過程、疾患における役割。【演習】異なる組織間（がん細胞を含む）、あるいは、発生・分化中組織における遺伝子発現変化に関する情報を取得する方法（新世代シーケンス、定量PCR、マイクロアレイ等のデータベースの活用）

14. 指定されたトピックについての学生発表

15. 総括

試験

1. Carbohydrates, lipids, and chemical energy that sustains life. 【Exercise】 Thought problems on acquisition of energy to sustain life

2. Proteins, enzymes and their applications in industry. 【Exercise】 How are artificial enzymes designed to create new function?

3. Anaerobic respiration and fermentation. 【Exercise】 Discussion on how anaerobic respiration drives industry such as fermentation industry and bioethanol production

4. Aerobic respiration and ATP synthase. 【Exercise】 Thought problems on how inhibitors were used to study and manipulate the reaction pathways

5. Photosynthesis (1): conversion of light energy to chemical energy. 【Exercise】 Thought problems on the evolution of two photosystems.

6. Photosynthesis (2): storage of chemical energy. 【Exercise】 How is photosynthesis used in industry? Discussion on bioplastics and plant molecular factory.

7. Cellular Organization: organelles' structure/function in health and disease and the cutting-edge techniques behind it. 【Exercise】 How to visualize specific proteins in various kinds of biological specimens?

8. Cellular membranes: structure/function in health and disease, their importance in biotechnology. 【Exercise】 How can "membrane transport" be used as a target for a new drug against cancer?

9. Cellular Signaling in health and disease, traditional and novel methods used to unravel the complexity of signaling pathways. 【Exercise】 How can mutant proteins help understand intracellular signaling mechanisms?

10. Mitosis and Meiosis: mechanisms of these processes in normal cells and how diseases are caused in cancer cells. 【Exercise】 How to download gene sequences from the databases and store them for your studies?

11. Basics of genetics: mechanisms of preservation, replication and repair of genetic information in normal cells and how abnormal functions are caused in cells with in cancer and aging process. 【Exercise】 How to find homologous sequences in the database and compare gene sequences each other? How to draw

|                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                    | <p>phylogenetic trees?</p> <p>12. Gene expression: protein synthesis based on genetic information in normal cells and its application in biotechnology and in medicine. 【Exercise】 How to obtain polypeptide sequences from the genes that encode them? How to obtain information about gene functions from the polypeptide sequences?</p> <p>13. Control of gene expression: controls through multiple levels including transcription, translation and stability of proteins, the processes through development and differentiation, and their roles in diseases. 【Exercise】 How to obtain information about differential gene expression during developmental differentiation, among different tissues including cancer cells (use of the databases of new generation sequencing, quantitative PCR, microarray and so on).</p> <p>14. Presentations by students on specified topics</p> <p>15. Summary</p> <p>Examination</p> |
| <p><b>授業時間外の学習</b><br/>(予習・復習等)</p> <p>Extended study hour outside class</p>       | <p>30 時間の授業と 4 時間程度の発表準備に加え、オンライン (Moodle または Google Classroom) に掲載された教材や後述の参考書を使って本学の標準時間数に準ずる予習・復習を行うこと。</p> <p>In addition to 30 hours you spend in the class and 4 hours in preparing your presentation, you are recommended to prepare for and revise the classes spending the standard amount of time as specified by the University, using the lecture handouts available from Moodle or Google Classroom and the references specified below.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p><b>成績評価方法</b><br/><b>および評価基準</b><br/>(最低達成基準を含む)</p> <p>Grading Policy</p>      | <p>成績評価は、試験結果 (40%) に加え、授業への貢献度と発表の評価 (60%) を基準として総合的に判断する。原則 8 割の出席を必要とする。</p> <p>Grades are given based 40 % on examination scores and 60 % on contribution during the classes and presentation. Note that more than 80 % attendance is required to sit for the exam.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p><b>オフィスアワー :</b><br/><b>授業相談</b></p> <p>Office Hours for Study Consultation</p> | <p>e-mail で予め連絡を入れてくれれば、随時受け付ける。</p> <p>Please ask questions before or after the class, or email to make appointments.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p> <p>Message</p>                                             | <p>生物学を楽しんで欲しい。Enjoy Biology!</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p><b>その他</b></p> <p>Others</p>                                                    | <p>英語で授業を行う。Lectures will be conducted in English, and are open to international students.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>キーワード</b></p> <p>Keyword (s)</p>                                             | <p>細胞、細胞小器官、生体分子、エネルギー代謝、光合成、遺伝子、タンパク質合成</p> <p>Cell, Organelles, Biological molecules, Energy metabolism, Photosynthesis, Genes, Protein synthesis</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                                                                             |      |        |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|
| 授業科目名        | 共生社会について考える                                                                                                                                                                                 |      |        |
| 英文授業科目名      | Perspective of the Humanities and Social Science on “Kyosei Society”                                                                                                                        |      |        |
| 開講年度         | 2023 年度                                                                                                                                                                                     | 開講年次 | 1～4 年次 |
| 開講学期、日にち、時限  | 3学期<br>土曜日の2・3限を予定しています。<br>This class will be held in the second and third periods on Saturday.                                                                                            | 開講場所 |        |
| 授業の方法        | 講義                                                                                                                                                                                          | 単位数  | 2      |
| 科目区分         | 共通科目                                                                                                                                                                                        |      |        |
| 開講学科・専攻      |                                                                                                                                                                                             |      |        |
| 担当教員名        | 吉田央・大倉茂・甲田菜穂子・新井祥穂・草処基・山田祐彰・及川洋征・川端良子・藤井義晴・Hiroshi YOSHIDA, Shigeru OHKURA, Naoko KODA, Sachiko ARAI, Motoi KUSADOKORO, Masaaki YAMADA, Yousei OIKAWA, and Yoshiko KAWABATA・Yoshiharu FUJII |      |        |
| 居室           |                                                                                                                                                                                             |      |        |
| 公開 E-Mail    |                                                                                                                                                                                             |      |        |
| 授業関連 Web ページ |                                                                                                                                                                                             |      |        |

講義情報

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および達成目標 | <p>主題: 現代社会において持続可能な発展を実現するために重要となる「共生」について、その概念と「共生社会」実現の条件と課題を考察します。具体的には、「共生」に関する理論的な検討を踏まえ、国内外における持続可能な社会の構築に向けた取組みに関する事例から、「共生社会」実現に向けた現状と課題を議論します。「共生」とは一体どういうものなのか、という理念の追求とともに、国内外における共生概念の実践例を提示しながら、共生社会のありようを考えていきます。</p> <p>本講義は以下の2部から構成されます。</p> <p>第1部では、人文社会科学の今日の総合的視点を「共生」と位置づけ、そこから現代社会が直面している課題を浮き彫りにし共生社会の必要性ならびに共生社会構築に必要な条件について、日本社会での現状と課題を提示しつつ、多面的側面から議論します。</p> <p>第2部では、自然と人間の共生、とりわけ現代社会における農業の役割と農学的視点を踏まえ、発展途上国農村部における持続可能な地域社会のあり方について、農工大が実施してきた JICA 草の根プロジェクトを含む事例を題材に議論します。</p> <p>達成目標: 複眼的視点から現代社会の諸問題と未来を考える意識が向上し、その洞察力の醸成を目標とします。</p> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>主な目標(科目別目標一覧対応): 国際感覚 知の開拓能力 コミュニケーション プレゼンテーション</p> <p>本科目は、グローバル展開科目 Multidisciplinary Courses の英語による科目として開講され、また、三大学連携特別講義として東京外国語大学、電気通信大学の学生も履修することができます。</p> <p>以下の場合には、授業を中止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者数が3人以下の場合</li> <li>・対面式開講ができなくなった場合</li> </ul> <p>Attaining sustainable development in our current society may require “<i>Kyosei</i>,” or symbiosis as an effective way of thinking. This course is intended to inquire into the concept of <i>Kyosei</i>, and necessary conditions and challenges for establishing <i>Kyosei</i> society.</p> <p>The class begins with a theoretical inquiry into <i>Kyosei</i>, followed by discussions on the present situations and challenges toward <i>Kyosei</i> society through a series of case studies of current efforts for the construction of sustainable society in Japan and abroad.</p> <p>What is “<i>Kyosei</i>?” The class begins with this simple but difficult question. While pursuing the concept and idea of <i>Kyosei</i>, we inquire into how <i>Kyosei</i> works in our current society and what is required for the establishment of <i>Kyosei</i> society. An inquiry into <i>Kyosei</i> is carried out by referring to several experiences.</p> <p>The course is composed of two parts. In part 1, viewing <i>Kyosei</i> as a contemporarily meaningful and comprehensive perspective of humanities and social science, we attempt to identify and assess present situations and challenges that society has been currently faced with and inquire into the needs of and conditions for the establishment of <i>Kyosei</i> society through a multidisciplinary approach.</p> <p>In part 2, first, focusing on <i>Kyosei</i> between nature and humans, we examine the role of agriculture in our current society and the examples of <i>Kyosei</i> in agriculture. Second, given the viewpoint above, we discuss the way in which sustainable rural development has emerged in developing countries, through a series of case studies of the rural development projects conducted by faculty members of Tokyo University of Agriculture and Technology.</p> <p>Expected Learning: The ultimate goal of this course is to improve the ability to think about various issues which our society has been currently faced with and future perspectives from multiple points of view and to deepen insights to understand such issues.</p> <p>Competency development: Global awareness, Ability to Explore Knowledge, Communication skills, Presentation skills.</p> <p>This course is offered in English as one of the Multidisciplinary Courses of the Global Integrated Studies, and is open to students from Tokyo University of Foreign Studies and the University of Electro-Communications.</p> |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <p>*Notice:<br/>This class will be held in the face-to-face class (off-line). This class will be canceled when the number of participants is less than 4.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 前もって履修しておくべき科目      | <p>なし<br/>Nothing in particular</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | <p>なし<br/>Nothing in particular</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教科書等                | <p>講義担当者が担当回で適宜、資料を配布および参考文献を提示<br/>No specific text book is used. Some materials will be distributed in class while other references will be announced.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 授業内容とその進め方          | <p>         &lt;第1部&gt;<br/>         第1回目 共生社会の経済・環境政策① (吉田)<br/>         第2回目 共生社会の経済・環境政策② (吉田)<br/>         第3回目 共生社会と環境正義① (大倉)<br/>         第4回目 共生社会と環境正義② (大倉)<br/>         第5回目 動物介在介入①(甲田)<br/>         第6回目 動物介在介入②(甲田)<br/>         &lt;第2部&gt;<br/>         第7回目 「共生」アプローチに基づく社会研究のケーススタディ (新井)<br/>         第8回目 現代社会における農業の役割、持続可能な発展に向けて② (草処)<br/>         第9回目 ベトナム・バックマー国立公園緩衝地帯における農民参加型木炭多用途利用技術の普及 (及川)<br/>         第10回目 ブラジル・アマゾンにおける遷移型アグロフォレストリーの普及 (山田)<br/>         第11回目 ウズベキスタン・シルクロードにおける養蚕技術の普及と女性のエンパワメント(川端)<br/>         第12回目(未定)<br/>         第13～15回目 学生による発表と総合ディスカッション<br/><br/>         &lt;Part 1&gt;<br/>         1. Economic and Environmental Politics on "Kyosei Society" ① (Yoshida)<br/>         2. Economic and Environmental Politics on "Kyosei Society" ② (Yoshida)<br/>         3. Kyosei Society and Environmental Justice ① (Ohkura)<br/>         4. Kyosei Society and Environmental Justice ② (Ohkura)<br/>         5. Animal Assisted Intervention ① (Koda)<br/>         6. Animal Assisted Intervention ② (Koda)<br/><br/>         &lt;Part 2&gt;       </p> |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>7. How do we conduct a social research, using case studies based on “Kyosei” approach? (Arai)</p> <p>8. Economic Thinking and “Kyosei Society” (Kusatokoro)</p> <p>9. Participatory extension of multipurpose use of charcoal in the buffer zone of Bach Ma National Park, Vietnam (Oikawa)</p> <p>10. Dissemination of Successional Agroforestry in the Brazilian Amazon (Yamada)</p> <p>11. Transfer of high quality Japanese sericulture technology and empowerment of women in Silk Road country, Uzbekistan(Kawabata)</p> <p>12. (TBD)</p> <p>13 – 15. Presentation by Students and Final Discussion</p> |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>授業時間 30 時間とディスカッション発表準備時間 4 時間程度に加え、各担当者が提示する閲覧可能な講義資料や参考書を参照し、本学の標準時間数に準ずる予習と復習を行うことが必要です。</p> <p>This course carries 2 credits. In addition to 30 hours you spend in the class and 4 hours in preparing your presentation at every discussions, you are recommended to prepare for, and revise, the classes spending the standard amount of time as specified by the University for each class, using the lecture handouts available and the references specified by every lecturers.</p>                                                                                                                   |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>授業内でのディスカッション(40%)ならびに課題レポート及びそのプレゼンテーション(60%)によって評価します。</p> <p>Participation in discussion (40%), and Term paper and its presentation in class (60%)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | <p>授業時間後に質問を受け付けます。</p> <p>After class</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | <p>なし</p> <p>Nothing in particular</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>その他</b>                                | <p>なし</p> <p>Nothing in particular</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>キーワード</b>                              | <p>共生、共生社会、持続可能な発展、持続可能な地域社会、発展途上国農村・農業開発、国際協力</p> <p>Kyosei, Kyosei society, Sustainable development, Sustainable local society, Rural and agricultural development in developing countries, International cooperation</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                       |      |     |
|--------------|---------------------------------------|------|-----|
| 授業科目名        | Water Resources Management            |      |     |
| 英文授業科目名      | Water Resources Management            |      |     |
| 開講年度         | 2023 年度                               | 開講年次 | 1～4 |
| 開講学期         | 2 学期 9 月<br>2 <sup>nd</sup> September | 開講場所 |     |
| 授業の方法        | 講義/Lecture                            | 単位数  | 1   |
| 科目区分         | 専門科目                                  |      |     |
| 開講学科・専攻      |                                       |      |     |
| 担当教員名        | 加藤亮/Tasuku KATO                       |      |     |
| 居室           | 2N303                                 |      |     |
| 公開 E-Mail    | taskkato@cc.tuat.ac.jp                |      |     |
| 授業関連 Web ページ |                                       |      |     |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>Rice production has an important role for sustainable development and food security in ASEAN countries. In this course, demand and supply aspects on rice irrigation planning and water resources management are discussed. Especially, Japanese rice production is discussed.</p> <p>水田農業の灌漑排水に関する基礎的な知見について理解することができる。<br/>ディプロマポリシーについては下記参照のこと<br/>Obtain basic knowledge of the irrigation and drainage system in paddy field<br/>Corresponding criteria in the Diploma policy:<br/>See the curriculum maps.<br/><a href="https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/">https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/</a></p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | <p>特になし<br/>Nothing</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | <p>特になし<br/>Nothing</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 教科書等                    | <p>Google Classroom にて事前に PDF 等で配布します<br/>Provided by handout.<br/>Please register in prepared Google classroom “Water Resources Management”,<br/>documents and handout will be uploaded.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 授業内容と<br>その進め方          | <p>1 日本の水田農業についての概略<br/>Class orientation and introduction of paddy fields in Japan<br/>2 灌漑排水の世界的な問題<br/>Global issues in irrigation and drainage<br/>3 水収支と水文学的な分析方法</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>Water balance and hydrological analysis</p> <p>4 水資源開発について</p> <p>Water resources development</p> <p>5 灌漑システム及び水田の多面的な機能</p> <p>Irrigation system and Multi-aspects on paddy fields</p> <p>6 流域管理について</p> <p>Watershed management and planning</p> <p>7 水, 食料, エネルギーの安全保障</p> <p>Water Food Energy security</p> <p>8 レポート提出</p> <p>Submit a report as assignment</p> <p>Online class would be scheduled under COVID19 situation.</p> |
| <b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b>              | <p>15 時間の講義を行います, 予習復習はそれぞれ 15 時間かかります。</p> <p>15hr is provided by lecture, 15hr for pre-study, and 15hr post study</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | <p>講義の各回で簡単な小テスト(40%)を実施し, 期末試験(またはレポート) (60%)で評価します。</p> <p>Small quiz or comment sheet in every class(40%), Final exam or report (60%)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | <p>メールにて連絡ください。通常, 夕方(5時から6時)はあいています。</p> <p>Daily 17:00-18:00, required to book by e-mail, please</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>その他</b>                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>キーワード</b>                              | <p>水田, 灌漑計画, 水文学, 水収支, 水質</p> <p>Paddy field, Irrigation plan, Hydrology, Water balance, Water quality</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                         |      |     |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 授業科目名        | 土と水                                                                                     |      |     |
| 英文授業科目名      | Soil and Water                                                                          |      |     |
| 開講年度         | 2023 年度                                                                                 | 開講年次 | 1～4 |
| 開講学期、日にち、時限  | 3 学期 毎週月曜日 16:30～<br>Lecture will be give every<br>Monday at 4:30 pm<br>in 3rd semester | 開講場所 | TBA |
| 授業の方法        | Lecture                                                                                 | 単位数  | 1   |
| 科目区分         |                                                                                         |      |     |
| 開講学科・専攻      | Eco-region Science                                                                      |      |     |
| 担当教員名        | Hiroataka Saito                                                                         |      |     |
| 居室           | 3-309                                                                                   |      |     |
| 公開 E-Mail    | hiros@cc.tuat.ac.jp                                                                     |      |     |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://web.tuat.ac.jp/~vadose">http://web.tuat.ac.jp/~vadose</a>               |      |     |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | Learn about the interaction of soil and water and its concepts, measurement method, and the basis of evaluation methods. The lecture especially focuses on water retention of soil and movement of water in the soil. Students will learn that knowledge can be applied to agricultural issues, irrigation management, water resource conservation, soil/groundwater pollution prevention, and remediation.                                                         |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | N/A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前もって履修しておくこ<br>とが望ましい科目 | Basic soil science                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 教科書等                    | Course materials will be provided                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 授業内容と<br>その進め方          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Soil Physical Properties</li> <li>2. Soil and Water</li> <li>2. Soil Water Potential</li> <li>3. Soil Water Retention</li> <li>4. Saturated Water Flow I</li> <li>5. Saturated Water Flow II</li> <li>6. Unsaturated Water Flow I</li> <li>7. Unsaturated Water Flow II</li> <li>8. Infiltration, Redistribution, and Evaporation</li> <li>9. Agriculture and Soil Physics</li> <li>10. Environmental Problems</li> </ol> |
| 授業時間外の学習                | Please refer to the Curriculum map of TUAT at                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|                                           |                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>(予習・復習等)</b>                           | <a href="https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/">https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/</a> |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | Homework/Exercise 50%, Final exam or report, 50%                                                                                      |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b>                  | By appointment only                                                                                                                   |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | Please download the materials from Google Classroom.                                                                                  |
| <b>その他</b>                                | If there are less than two students registered, the course will be cancelled.                                                         |
| <b>キーワード</b>                              | Unsaturated Soil, Soil Physics, Water Flow, Soil Contaminants                                                                         |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                |      |                                                   |
|--------------|----------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|
| 授業科目名        | 途上社会における人口事情学                                                  |      |                                                   |
| 英文授業科目名      | The Study on Population Affairs in Developing Societies        |      |                                                   |
| 開講年度         | 2023 年度                                                        | 開講年次 | 1～4                                               |
| 開講学期、日にち、時限  | 2学期集中講義<br>9/25～9/26                                           | 開講場所 | 対面の場合2N-509、<br>オンラインの場合随時にグーグルクラスルームにてお知らせいたします。 |
| 授業の方法        | 講義＋AL型 Lecture＋AL                                              | 単位数  | 1                                                 |
| 科目区分         | 世界教養科目<br>Global Liberal Arts Subjects                         |      |                                                   |
| 開講学科・専攻      |                                                                |      |                                                   |
| 担当教員名        | 聶 海松<br>Haisong NIE                                            |      |                                                   |
| 居室           | 東京農工大学農学部2N-508                                                |      |                                                   |
| 公開 E-Mail    | <a href="mailto:nie-hs@cc.tuat.ac.jp">nie-hs@cc.tuat.ac.jp</a> |      |                                                   |
| 授業関連 Web ページ | 該当なし<br>Not Applicable (N/A)                                   |      |                                                   |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>グローバルな視点で途上社会における人口および環境問題に関する課題の認識を行い、積極的な議論を通して知見や課題を共有することを目的とする。</p> <p>持続可能な開発を効果的に実現する人口動態に注目しつつ、途上諸国・地域、特に中国の人口および環境問題に関する調査研究について学習する。本科目は、講義のほかビデオ視聴、テーマを選択して一人ずつのプレゼンテーション、各国の事情に関するディスカッションを取り入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済と人口問題に焦点を当て、持続可能な開発と地域計画に関して理解する。</li> <li>2. 選択したテーマについてまとめ、プレゼンテーションすることができる。</li> <li>3. 一か国の事例に対して、自国での状況や自分の考えを発表し、積極的に議論することができる。</li> </ol> <p>主な目標(科目別目標一覧対応)</p> <p>異文化理解◎、国際感覚◎、コミュニケーション◎、自主性・自律性○、プレゼンテーション○</p> <p>This course aims to recognize issues related to population and environmental problems in developing society from a global perspective and to share knowledge and issues through active discussion.</p> <p>To learn about researching studies on developing countries and regions, especially China's population and environmental problems while focusing on population dynamics to effectively realize sustainable development.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. To understand sustainable development and regional planning with a focus on economic and population problems.</li> </ol> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <p>2. Enable to summarize and present the selected topics.</p> <p>3. Enable to present the situation with one's own ideas and have positively discussions</p> <p>Main goals/targets (Corresponding to targets list by course)</p> <p>Intercultural Understanding ◎, International sense ◎, Communication ◎, Autonomy ○, Presentation ○</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 前もって履修しておくべき科目      | <p>該当なし</p> <p>Not Applicable (N/A)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | <p>該当なし</p> <p>Not Applicable (N/A)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教科書等                | <p>必要に応じて資料を配布</p> <p>Distribute documents as necessary</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 授業内容とその進め方          | <p>1. 世界人口に関する基礎的知識の取得:</p> <p>(1) 世界人口の動態</p> <p>(2) 人口問題と環境、食糧問題</p> <p>(3) 途上地域における人口管理と家族計画</p> <p>2. 人口データを読み解くためのスキル取得:</p> <p>国連サイトから人口データを利用する方法を学ぶ。</p> <p>3. 事例紹介と課題認識:</p> <p>中国における人口問題、高齢化について紹介する。その後、受講者の国の事情を互いに紹介、議論する。</p> <p>4. テーマに沿ったプレゼンテーションと議論:</p> <p>国連人口基金(UNFPA)が発行する「世界人口白書」から選んだテーマについて発表と議論をおこなう</p> <p>1. Acquisition of basic knowledge on world population:</p> <p>(1) Dynamics of the world population</p> <p>(2) Population Problems and the Environment, Food Problems</p> <p>(3) Population management and family planning in developing regions</p> <p>2. Skill acquisition on purpose of reading population data:</p> <p>Learn how to use population data from the United Nations site.</p> <p>3. Case introduction and issue recognition:</p> <p>Lecture on population problems and aging in China</p> <p>After that, introduction and discussion between audiences on circumstances of the countries of the students is required.</p> <p>4. Presentation and discussion on topics:</p> <p>Presentation and discussion on the topics selected from the state of world population that were developed under the auspices of the UNFPA Division for Communications and Strategic Partnerships.</p> |
| 授業時間外の学習(予習・復習等)    | <p>授業時間(16 時間)、5 ページのレポートおよび発表用パワーポイント作成時間(5 時間)に加え、授業で扱うテーマに関して母国の事情や自分の考えを発表するための準備として情報収集を行い本学の標準時間数に準じる予習復習を行うこと。</p> <p>In addition to 16 hours you spend in the class and 5 hours in completing 5- page report</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                  | <p>assignment and ppt slides for presentation, you are recommended to prepare for, and review, the classes spending the standard amount of time as specified by the University for each class.</p> <p>The said 5-page report is required to describe impressions and recommendations relevant to the lecture content.</p> |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>発表の評価(40%)、1回の課題(レポート5ページ)の評価(40%)、授業や議論への参加度(20%)を総合的に判断する。</p> <p>Grades are given based 40 % on presentation, another 40% on 5-page report and 20% on contribution during the classes.</p>                                                                                                                          |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>面談の予約は、随時に以下のメールにご連絡頂ければ幸いです。</p> <p>nie-hs@cc.tuat.ac.jp</p> <p>If you have any question, please feel free to contact me.</p> <p>nie-hs@cc.tuat.ac.jp</p>                                                                                                                                                             |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                          | <p>受講者の様子を配慮して、より受講者にとって楽しく有意な講義となるため、内容の一部変更も伴うことがあります。</p> <p>Considering the situation and level of the students, part of the contents may be changed to become a fun and beneficial and meaningful lecture for the students.</p>                                                                                      |
| <p><b>その他</b></p>                                | <p>該当なし</p> <p>Not Applicable (N/A)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p><b>キーワード</b></p>                              | <p>人口動態、人口問題、食糧、環境破壊、人口管理、人口移動、高齢化</p> <p>Population dynamics, population issues, food, environmental destruction, population management, population migration, aging</p>                                                                                                                                                 |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                              |      |         |
|--------------|--------------------------------------------------------------|------|---------|
| 授業科目名        | 森林資源とバイオマス                                                   |      |         |
| 英文授業科目名      | Forest Resources and Biomass                                 |      |         |
| 開講年度         | 2023 年度                                                      | 開講年次 | 1,2,3,4 |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏学期集中 Summer<br>9 月下旬頃 2 日間                                  | 開講場所 |         |
| 授業の方法        | フィールド・ツアー                                                    | 単位数  | 1       |
| 科目区分         | 3大学連携特別講義ⅠまたはⅡ<br>Multidisciplinary Courses                  |      |         |
| 開講学科・専攻      | 東京農工大学農学部環境資源科学科                                             |      |         |
| 担当教員名        | 安藤恵介<br>Keisuke Ando                                         |      |         |
| 居室           | 1-318                                                        |      |         |
| 公開 E-Mail    | <a href="mailto:andok@cc.tuat.ac.jp">andok@cc.tuat.ac.jp</a> |      |         |
| 授業関連 Web ページ |                                                              |      |         |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>森林資源やバイオマスに関する概論として位置づけられるAIMSの授業です。森林資源とバイオマスについての1泊2日のフィールド・ワークとして行います。日本の木材利用・林産・木材工学・木材加工・木質構造に関して理解を深めるため、木造住宅の工場、歴史的な木橋、古民家などを見学します。また、富士山周辺の森林や富士山世界遺産センター等を訪れ、富士山や森林等について歴史や自然について学びます。</p> <p>到達目標</p> <p>日本の木材利用、木材加工、木質構造について理解し、説明できる。</p> <p>現在の工業化住宅と伝統的な古民家を比較検討し、木橋の構造などを含め、木質構造を理解し、説明できる。</p> <p>富士周辺の森林の利用や生態的な機能について理解し、説明できる。</p> <p>本科目のディプロマ・ポリシーの観点：</p> <p>本学 HP(三つのポリシー)のカリキュラムマップを参照してください。</p> <p><a href="https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/">https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/</a></p> <p>This course is 2-days field trip on forest products, timber engineering (wood processing and wooden construction). Visiting a factory of modern housing company, an ancient wooden bridge Saruhashi, monkey bridge, constructed 1300 years ago. Next day visiting forests at Mt. Fuji and Fujisan World Heritage Center.Expected Learning</p> <p>Understanding utilization of Japanese forest resources and forest products.</p> <p>Traditional and modern Japanese wooden housing. Ancient and historical wooden bridge.</p> <p>Forest in Mt.Fuji area. Mt.Fuji as a world heritage.</p> <p>Corresponding criteria in the Diploma policy:</p> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | See the curriculum maps.<br><a href="https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/">https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 前もって履修しておくべき科目           | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目      | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 教科書等                     | フィールド・ツアー前に配布します。<br>Course notes will be provided before the field trip.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 授業内容とその進め方               | スケジュール(予定)<br>1 日目 東京農工大学正門(府中) 8:00 出発<br>1) 工業化住宅の工場見学(一条工務店上野原市工場)<br>2) 猿橋(約 1300 年前に建設)見学<br>2 日目<br>4) 富士山周辺の森林散策<br>5) 富士山世界遺産センター見学<br>府中キャンパス 19:00 到着(交通事情により遅くなることがあります)<br>1-day Departure 8:00 (Fuchu Campus)<br>1) Visiting a factory of modern Japanese housing company (Ichijo Komuten).<br>2) Visiting an ancient wooden bridge Saruhashi, monkey bridge, constructed 1300 years ago.<br>2-day<br>4) Visiting the forest near Mt. Fuji.<br>5) Visiting the Fujisan World Heritage Center<br>Arrived 19:00 or later, depend on the traffic (Fuchu Campus) |
| 授業時間外の学習(予習・復習等)         | 特になし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 成績評価方法および評価基準(最低達成基準を含む) | フィールド・ツアー後のレポート課題により評価(100%)<br>Report submission of field (100%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| オフィスアワー: 授業相談            | 随時 事前にメールで問い合わせてください                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 学生へのメッセージ                | AIMS の学生と一緒に見学旅行・宿泊し、懇親を深め、英会話能力の向上を図ります。<br>留学生とともに富士山に行こう！<br>Students will tour and stay with AIMS students to get to know each other better and improve their English conversation skills. Let's go to Mt. Fuji!                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| その他                      | 新型コロナウイルス感染症の影響等で変更・中止となる場合があります。<br>交通費と宿泊費等で最大1万円程度かかります。<br>This class may be cancelled due to COVID-19.<br>It will cost up to 10,000 yen for bus fare and accommodation.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| キーワード                    | 森林資源 森林バイオマス 木材工業 木質構造 木造住宅                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|  |                                                                                       |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  | Forest Resources, Forest Biomass, Timber Engineering, Wooden Housing, Wood Processing |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------|

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                              |      |                               |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------|
| 授業科目名        | Communicating Science                                                        |      |                               |
| 英文授業科目名      | Communicating Science                                                        |      |                               |
| 開講年度         | 2023 年度                                                                      | 開講年次 | 1～4                           |
| 開講学期、日にち、時限  | 第3 学期 水曜 4 限<br>3 <sup>rd</sup> , Wed. 4                                     | 開講場所 | 東京農工大学小金井キャンパス 13 号館 505 (予定) |
| 授業の方法        | Lecture                                                                      | 単位数  | 2                             |
| 科目区分         | 教養科目 (Liberal Arts and Fundamental Studies)                                  |      |                               |
| 開講学科・専攻      | 全学科 (All departments)                                                        |      |                               |
| 担当教員名        | 安村友紀 (グローバル教育院) Yuki Yasumura,                                               |      |                               |
| 居室           | 小金井キャンパス 13 号館 507 Room507, 13 <sup>th</sup> Building, Koganei Campus        |      |                               |
| 公開 E-Mail    | <a href="mailto:yuki-yasumura@go.tuat.ac.jp">yuki-yasumura@go.tuat.ac.jp</a> |      |                               |
| 授業関連 Web ページ |                                                                              |      |                               |

講義情報

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主題および<br/>達成目標</p> | <p>このコースでは技術開発の影響をさまざまな観点から吟味し、また、異なる立場、価値観、プライオリティーを持つ人々の視点を理解し共通理解や合意に至るためには何が必要かを考える。また、パブリックエンゲージメントによる科学者と市民の協働にも焦点を当てる。授業は英語で行われ、英語によるディスカッションやプレゼンテーションのスキルアップも目指す。今回の授業では、国際的にも重要課題の一つである食糧問題を扱う。食糧生産に関わる科学技術を学び、さまざまな立場にあるステークホルダーと研究者のコミュニケーションを想定して必要な情報発信と協働方法、意見交換を考える。</p> <p>This course is designed to consider and evaluate the technological advances and their impacts on the society from various points of view, and to nurture the mindsets and skills to communicate with people who have different priorities and interests when discussing new technologies in the social context. This year, we will discuss food security, which is one of the major global issues we face today. We will learn modern biotechnologies that are applied in food production, and think about ways in which the stakeholders from different sectors of society and scientists can share views and ideas effectively and work together collaborately.</p> <p>到達目標は次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語で科学的な内容について効果的にディスカッションし発表することができる。</li> <li>2. 様々な地域的特性や社会的立場に身を置く人々の、多様な視点や価値観を意識できる。</li> <li>3. パブリックエンゲージメント、ステークホルダーコミュニケーションを理解する。</li> <li>4. 科学技術の知識、利益、課題、問題点について、対話の相手にとって重要な点を、適切な言葉や方法で説明することができる。</li> </ol> |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. To learn and practice how to discuss and present scientific topics effectively</li> <li>2. To be aware of different interests, priorities and values of people who are in different positions of the society and in different parts of the world</li> <li>3. To understand the concept of public engagement and stakeholder communications.</li> <li>4. To understand and practice skills required to communicate effectively with the target audience and offer the critical information.</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 前もって履修しておくべき科目      | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 教科書等                | <p>授業で資料を配布します。<br/>Handouts will be provided during the class</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 授業内容とその進め方          | <p><u>1 日目</u><br/> 1: 講義 穀物など農産物の栽培化について<br/> 2: ディスカッション 栽培化の利点と問題点。これからの農業の優先事項<br/> 3: 講義 遺伝子組み換え技術による食糧生産</p> <p><u>2 日目</u><br/> 4: 講義 ゲノム編集技術による食糧生産<br/> 5: ディスカッション 遺伝子組み換え技術に対する社会の目線(紫トマトの事例)<br/> 6: 発表 遺伝子組み換え技術に対する様々な視点からの評価(紫トマトの事例)</p> <p><u>3 日目</u><br/> 7: 講義 パブリックエンゲージメント(市民参与)とステークホルダーマッピング<br/> 8: ディスカッション ステークホルダーの主張を理解し考える<br/> 9: ディスカッション ステークホルダーと目的に合わせた情報発信</p> <p><u>4 日目</u><br/> 10: 発表 科学技術の情報発信方法の提案<br/> 11: 講義 2050 年の食糧危機<br/> 12: ディスカッション 課題解決を目的としたアイデア出し<br/> 13: ディスカッション プロジェクトの設計と主張の組み立て</p> <p><u>5 日目</u><br/> 14: 発表 研究ファンド獲得を想定した発表<br/> 15: フィードバックを元にしたプロジェクトの見直し</p> <p><u>Day 1</u><br/> 1: Lecture – Domestication of crops<br/> 2: Discussion – Benefits and problems of agriculture. Priorities for modern agriculture<br/> 3: Lecture – Food production by genetic Engineering</p> <p><u>Day 2</u><br/> 4: Lecture – Food production by genome Edit<br/> 5: Discussion – Public perception of GM food (a case study on purple tomatoes)<br/> 6: Presentation – Evaluation of GM food from various perspectives (a case study on</p> |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p>purple tomatoes)</p> <p><u>Day 3</u></p> <p>7: Lecture – Public engagement and stakeholder mapping</p> <p>8: Discussion – Identifying and considering the stakeholders’ agenda</p> <p>9: Discussion – Communication tailored for the stakeholders to meet their objectives</p> <p><u>Day 4</u></p> <p>10: Presentation – To suggest a strategy of public engagement for a technology of choice</p> <p>11: Lecture – Food security in 2050</p> <p>12: Discussion – Idea generation for problem solving</p> <p>13: Discussion – Planning a project and constructing a convincing argument</p> <p><u>Day 5</u></p> <p>14: Presentation _ Project proposal aiming at funding agencies</p> <p>15: Rewriting presentation to respond to feedback</p> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | <p>30 時間の授業と 4 時間程度の発表準備に加え、オンライン(Moodle または Google Classroom)に掲載された教材や後述の参考書を使って本学の標準時間数に準ずる予習・復習を行うこと。</p> <p>In addition to 30 hours you spend in the class and preparation for presentations, you are recommended to prepare for and revise the classes spending the standard amount of time as specified by the University.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | <p>ワークシートの作成と発表の点数(80%)、ディスカッションへの参加(20%)</p> <p>Marks on the worksheets and presentations assigned in the class (80%). Commitment to discussion (20%)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| オフィスアワー:<br>授業相談                 | <p>授業前後に質問を受け付けます。メールでも質問や面談の設定に対応します。</p> <p>Please ask questions before or after the class, or email to make appointments</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 学生へのメッセージ                        | <p>英語での講義、ディスカッション、プレゼンテーションで構成されます。留学や学会発表の前準備にも活用できる内容です。</p> <p>This course is offered in English, and includes discussion sessions and opportunities for presentations.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| その他                              | <p>この科目は、2021 年度まで開講された Science and Technology in the Global Era の内容を踏襲したものです。Science and Technology in the Global Era を過去に履修した学生は、本科目の履修により単位を修得することはできません。</p> <p>This course is based on ‘Science and Technology in the Global Era’ which was offered until 2021. Students who have attended ‘Science and Technology in the Global Era’ in the past will not be able to obtain additional credits by taking this course.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| キーワード                            | <p>パブリックエンゲージメント、ステークホルダーコミュニケーション</p> <p>public engagement, stakeholder communications</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                               |      |                                                               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|
| 授業科目名        | 波とはなにか？                                                                       |      |                                                               |
| 英文授業科目名      | What is a Wave? -Essentials of Physics-                                       |      |                                                               |
| 開講年度         | 2023 年度                                                                       | 開講年次 | 1-3                                                           |
| 開講学期、日にち、時限  | 3 学期<br>3rd term                                                              | 開講場所 | Room 503, Bldg. 13 Koganei Campus<br>(or Online if necessary) |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                 | 単位数  | 2                                                             |
| 科目区分         |                                                                               |      |                                                               |
| 開講学科・専攻      |                                                                               |      |                                                               |
| 担当教員名        | 伊藤 輝将<br>Terumasa Ito                                                         |      |                                                               |
| 居室           | 小金井キャンパス 4 号館 512 室 三沢研究室<br>Room 512, Bldg. 4, Koganei campus (Misawa's Lab) |      |                                                               |
| 公開 E-Mail    | teru-ito@cc.tuat.ac.jp                                                        |      |                                                               |
| 授業関連 Web ページ |                                                                               |      |                                                               |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>本講義は東京外国語大学、電気通信大学、東京農工大学の西東京三大学連携の一環として開講される Multidisciplinary Course の一つである。本講義は、物理系専攻学生に限らず全学部学科の学生を対象に、基本的な物理学とその応用について学ぶ機会を提供することを目的としている。主として取り扱う領域は、波動現象、電磁気学、光学、初等的な量子物理学である。</p> <p>本講義は、Wifi、スマートフォンやカメラなど我々の普段の生活に関わる物の中に潜む身近な物理の実例に触れながら、製品のデザインの中にそれがどのように組み込まれているかを学んでいく。複雑な数式を解くことよりも、物理現象を理解する上で必要となる単純なモデルや重要な数学のコンセプトを中心に理解することを目指す。本授業は講義形式の他に、対話型のグループ作業や英語によるプレゼンテーションを交えて議論を進めていく。</p> <p>本講義では、以下を身につけることを目標とする：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なエレクトロニクスの中にある物理現象が何であるかを見極められること</li> <li>・簡単な数式、適切な図やグラフを使って波動の現象を表現できること</li> <li>・物理学が他の学問分野(生物学、化学、医学など)にどのように関わっているかを理解すること</li> <li>・自分の言葉として英語を使い、対話、発表するスキルを身につけること</li> </ul> <p>This course is a part of the inter-university, multi-disciplinary courses open for three universities (TUFS, UEC and TUAT). The goal of this course is to introduce basic wave physics and its applications for both physics and non-physics students. The main topics to be covered in the lectures include: wave phenomena, electromagnetics, optics and basic quantum physics.</p> |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <p>We will approach the topics of physics using existing tangible examples that illustrate the relevance of physics to your lives such as wifi, smartphones and cameras, and you will learn how wave physics is used in product designs. We will not spend so much time on studying how to solve complicated equations; instead, we will focus on learning some important simplified models and mathematical concepts to understand a variety of physical phenomena. This course includes interactive group work sessions and opportunities for presentations in English.</p> <p>Upon completion of this course, you will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>– Identify the key physical phenomena in electronic devices around you, and explain how they work.</li> <li>– Use simple equations, appropriate diagrams and graphs to describe wave phenomena.</li> <li>– Recognize the relations between physics and other disciplines (biology, chemistry, medicine etc.).</li> <li>– Gain communication and presentation skills in English, and more importantly, in your own words.</li> </ul> |
| 前もって履修しておくべき科目      | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 教科書等                | <p>Reference textbook: OpenStax's University Physics (Volume 1-3)<br/> Download for free at<br/> <a href="https://openstax.org/details/books/university-physics-volume-1">"https://openstax.org/details/books/university-physics-volume-1"</a></p> <p>この他、各授業で講師が作成した資料を配布する。<br/> Lecture handouts and materials will be prepared for each class.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 授業内容とその進め方          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Understanding how electronic devices work (display, wifi, camera, sound devices)</li> <li>2. Oscillators and waves</li> <li>3. Physical quantities in electromagnetics</li> <li>4. Electromagnetic spectra (radio waves, light, x-ray)</li> <li>5. Electromagnetism (Maxwell's equations)</li> <li>6. How to analyze waves: the concept of Fourier transform</li> <li>7. Optics: refraction, interference and diffraction</li> <li>8. Optical instruments for biomedical sciences (spectroscopy and microscopy)</li> <li>9. Presentation I (mid-term report)</li> <li>10. Momentum and energy of electromagnetic waves</li> <li>11. Introduction to quantum physics: wave-particle duality</li> <li>12. Photons and electrons</li> <li>13. Light and matters: absorption and emission spectra</li> <li>14. Presentation II (final exam)</li> <li>15. Recap</li> </ol>                                                                                                                                                                                                      |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | 参考書テキストは授業前に一度目を通しておくこと。詳細を暗記する必要はない。<br>I recommend that you read the reference textbook prior to lecture, but you are not expected to memorize the details.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | 最終試験の評価(50%)、授業への貢献を含めた平常点(50%)を用いて評価する。<br>The final grades for this course will be given based on:<br>– final exam (50%)<br>– Participation during the lectures: including working in groups, answering questions and quizzes (50%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| オフィスアワー:<br>授業相談                 | 月曜 10:00 – 11:00 (小金井キャンパス 4 号館 512 室)<br>E メールでの質問も随時受け付けます。<br>Monday 10am – 11am. Office: Room 512, Bldg. 4, Koganei campus.<br>You can email me anytime with questions (teru-ito@cc.tuat.ac.jp)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学生へのメッセージ                        | <p>本講義を通して、今日の多くのイノベーションや産業を下支えしている物理学の面白さを、より身近に感じてもらえればと思います。この三大学連携講義の中では、他大学の学生と協働してグループワークに取り組んでもらう機会もあります。これまでに物理を学んできた人にとっては、実際に声に出して人に説明してみること、自分の理解度がどの程度かを知る良い機会になると思います。もちろん、他の専攻の学生の参加も大いに歓迎します。授業やオフィスアワーの中で、ぜひ素朴な疑問を私や学生に対して投げかけてみてください。単純な話を考えることが皆さんの思考を深める良い薬になり、自分では知っていると思っていることが、実は理解できてなかった、ということに気づくきっかけにもなります。三大学連携の「相互作用」をぜひ楽しんでください。</p> <p>Through this course, I hope you will become familiar with many exciting topics of physics that drive many innovative electronics products and real-world industrial applications. This multi-disciplinary course offers group work activities with students from other universities. If you have already taken some physics classes, this course will be a great opportunity for you to check your understanding, and explain the physics in your own words. Of course, we also welcome students from other majors. I encourage you to ask any simple questions to me and other students during the class or in office hours. Your simple questions will stimulate the classroom and will make other students realize that what they thought they understood was actually what they didn't. I hope you will enjoy the interactions between the three universities!</p> |
| その他                              | n/a                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| キーワード                            | 波動現象、エレクトロニクス、電磁気学、幾何光学と波動光学、初等量子物理学<br>wave phenomena, electronics, electromagnetics, geometric and wave optics, basic quantum physics                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

### 令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                               |      |                     |
|--------------|---------------------------------------------------------------|------|---------------------|
| 授業科目名        | 持続型社会のための工学                                                   |      |                     |
| 英文授業科目名      | Engineering for Sustainable Society                           |      |                     |
| 開講年度         | 2023 年度                                                       | 開講年次 | 1～4                 |
| 開講学期、日にち、時限  | 2 学期、2023 年 8 月下旬の 3 日間の予定、1 限～5 限                            | 開講場所 | 農工大・小金井・13 号館 505 室 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                 | 単位数  | 2                   |
| 科目区分         | Multidisciplinary Courses                                     |      |                     |
| 開講学科・専攻      |                                                               |      |                     |
| 担当教員名        | 野間竜男<br>Tatsuo NOMA                                           |      |                     |
| 居室           | 小金井キャンパス 13 号館 508 室<br>Room 508, Building 13, Koganei Campus |      |                     |
| 公開 E-Mail    | noma@cc.tuat.ac.jp                                            |      |                     |
| 授業関連 Web ページ |                                                               |      |                     |

#### 講義情報

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および達成目標 | <p>この講義では、持続可能な社会実現の着想に役立つ最先端のエンジニアリングを理解することを意図しています。日本の現在の課題に焦点を当てるとともに、諸外国における状況と比較します。工学の重要な基礎知識を提供するだけでなく、履修者の将来の研究とグローバルな視点のアイデアを生み出す一助になればと思います。なお、すべての指示、講義、議論が英語で行われます。</p> <p>This course is intended to cultivate a better understanding engineering for sustainable world among students. We focus on the current issues in Japan and also compare with the situations in other countries. These lectures will not only provide students with an important foundation in engineering, but also help them develop ideas of their own research and global point of view. All instructions, lectures and discussion are given and done in English.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 種々の科学技術について持続可能な社会構築に関わる観点から考察し、日本の科学技術レベルとその課題を理解できる。</li> <li>2. 科学技術に関する種々のトピックについて参加者間で英語で討論できる。</li> <li>3. 留学生を含めた参加者でグループを作り、プレゼンテーションコンテンツを協働して作成できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Discuss the science and technology for sustainable society from a global point of view and be able to understand Japan's science and technology level and its tasks.</li> <li>2. Be able to discuss various topics on science and technology among</li> </ol> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | <p>participants in English.</p> <p>3. Participants including international students will make groups and be able to collaborate on presentation.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 前もって履修しておくべき科目       | <p>特になし</p> <p>n/a</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目  | <p>特になし</p> <p>n/a</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教科書等                 | <p>インターネットを通して各回のレジュメを事前に配布する。</p> <p>Handouts and materials given before the lectures</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 授業内容とその進め方           | <p>すべて英語で行います。</p> <p>[Day 1]</p> <p>1. Orientation and self-introduction from the participants 全体ガイダンスと参加者各自の専門に関する自己紹介</p> <p>2. Lecture on Topic 1 (Plastics Recycling) プラスチックスの再利用技術について学ぶ</p> <p>3. Lecture on Topic 2 (Artificial Bone) 人工骨について学ぶ</p> <p>4. Lecture on Topic 3 (High Pressure Processing of Foods and Superabsorbant Polymers for Agriculture) 食品の超高压加工技術と吸水性ポリマーの農業への応用について学ぶ</p> <p>[Self-Study]</p> <p>5. Preparation for Individual Presentation 英語で発表することの注意点について指導する。後半のグループについてアレンジする。</p> <p>[Day 2]</p> <p>6. Students' Presentation and Discussion 1 英語での個別発表</p> <p>7. Students' Presentation and Discussion 2 英語での個別発表</p> <p>8. Lecture on Topic 4 (Biomass Energy) バイオマス技術について学ぶ</p> <p>9. Lecture on Topic 5 (Future Energy) 種々の最先端のエネルギー利用について学ぶ</p> <p>[Group-Study]</p> <p>10. Preparation for Group Presentation 1 各グループで発表を準備する</p> <p>11. Preparation for Group Presentation 2 各グループで発表を準備する</p> <p>[Day 3]</p> <p>12. Group Presentation and Discussion 1 英語でのグループ発表</p> <p>13. Group Presentation and Discussion 2 英語でのグループ発表</p> <p>14. Concluding Remarks 全体のまとめ</p> <p>15. Appendix 追補</p> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等) | <p>講義、議論等はすべて英語で行うので、ある程度の英語コミュニケーション能力が必要である。事前にレジュメを配布するので、授業で用いる専門的な英語について理解できるよう予習することが必須である。また2回のプレゼンテーションのためには、レジュメだけではなくインターネット等で最新の科学技術事情を自ら調べ、まとめる復習が必要である。</p> <p>Lectures and discussions are all done in English, so English communication</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | skill is necessary. Handouts are distributed beforehand, so it is essential to prepare so that you can understand the technical terms used in the lecture. In addition, for two presentations, it is necessary to review the latest science and technology information through internet and resume by yourselves. In addition to 30 hours you spend in the class, you are expected to prepare for and review the classes as above, spending the standard amount of time as specified by the University. |
| <b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b> | 授業中の議論への参加度およびプレゼンテーション(2回)の内容から総合的に判断する。<br>議論：20%、プレゼンテーション：40%×2<br>Participation in Discussions during the lecture (20%) and oral presentations (80%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>オフィスアワー：<br/>授業相談</b>                  | 金曜日 12:00-13:00<br>Friday 12:00-13:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>学生へのメッセージ</b>                          | 英語ですべて行うが、それほどハードルは高くはない。参加する留学生もそのほとんどがネイティブではないので、カタコトの英語で話す留学生もいる。基本的な英語に関する知識は日本人学生の方が高い場合も多い。この授業は英語をあくまでツールとした授業なので、学生が議論やプレゼンテーションをする際、文法や構文などにはあまりこだわらない。気軽に参加してほしい。その経験の中で、実践的な英語コミュニケーション能力が向上すると思う。授業中は参加者へ発言を頻繁に促し、それを基に参加者間で議論を進めていくので、積極的に発言してほしい<br>I encourage participants to join the discussion during the lecture, so don't hesitate.                                                                                                                                               |
| <b>その他</b>                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>キーワード</b>                              | 科学技術、英語プレゼンテーション、持続型社会、英語ディスカッション<br>Japanese, Science, Technology, Sustainable Society and Group Presentation                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                              |      |                    |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------|
| 授業科目名        | 学域特別講義 A (マインドスポーツゲームを学ぶ)                                                                    |      |                    |
| 英文授業科目名      | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Learn to Play Games Called Mind Sports) |      |                    |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                                            | 開講年次 | 1/2/3/4            |
| 開講学期、日にち、時限  | 前学期 (夏季集中)<br>Summer Lecture<br>8/31・9/1 10:40-17:45                                         | 開講場所 | 電気通信大学<br>西4号館 101 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                | 単位数  | 1                  |
| 科目区分         | 総合文化科目／特別講義                                                                                  |      |                    |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                                           |      |                    |
| 担当教員名        | 保木邦仁<br>Kunihito Hoki                                                                        |      |                    |
| 居室           | 西 4 号館 506 室<br>West No. 4 Building 506 rooms                                                |      |                    |
| 公開 E-Mail    | k.hoki@uec.ac.jp                                                                             |      |                    |
| 授業関連 Web ページ | なし<br>None                                                                                   |      |                    |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | 受講者は海外のゲーム文化に触れる。また、思考力を競うボードゲームの奥深さと面白さを学ぶ。さらに、英会話の表現の幅を広げる。<br>The participants touch overseas game culture. Also learn the depth and fun of board games competing for intellectual ability. In addition, broaden the range of expression of English conversation. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 前もって履修しておくこ<br>とが望ましい科目 | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 教科書等                    | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 授業内容と<br>その進め方          | 1 日目はバックギャモンの遊び方を学ぶ。バックギャモンは統計的思考を要する二人で遊ぶゲームである。<br>・1 日目午前: バックギャモンのルールを学ぶ<br>・1 日目午後: バックギャモンのゲームプレイを体験する                                                                                                                                                         |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p>二日目はカタンの開拓者たちの遊び方を学ぶ。カタンの開拓者たちはプレイヤー間の交渉を伴うような三人以上で遊ぶゲームである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2日目午前:カタンの開拓者たちのルールを学ぶ</li> <li>・2日目午後:カタンの開拓者たちをプレイする</li> </ul> <p>On the first day, we learn to play backgammon. Backgammon is a game played by two people who need statistical thinking.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Day 1 am: Learning the rules of backgammon</li> <li>- Day 1 pm: Experience gameplays of backgammon</li> </ul> <p>On the second day, we learn to play The Settlers of Catan. The Settlers of Catan is a game played by three or more people involving negotiation between players.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Day 2 am: Learning the rules of The Settlers of Catan</li> <li>- Day 2 pm: Experience gameplays of The Settlers of Catan</li> </ul> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | 授業への積極的な参加 (3 割) と、ディスカッションへの積極的な参加 (7 割)<br>Active participation in class (30%) and in discussion (70%)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| オフィスアワー:<br>授業相談                 | 授業相談を電子メールで随時受け付ける。<br>We accept class consultation from time to time by electronic mail.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学生へのメッセージ                        | 授業中はディスカッションに積極的に参加すること。<br>Actively Participate in the Discussion During the Lecture.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| その他                              | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| キーワード                            | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                                                                                                                                                          |      |                                                 |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|
| 授業科目名        | 学域特別講義A(融合領域の最新動向B)                                                                                                                                                                                                      |      |                                                 |
| 英文授業科目名      | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Current Topics in Emerging Multi-interdisciplinary Engineering B)                                                                                                   |      |                                                 |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY 2023                                                                                                                                                                                                       | 開講年次 | 1/2/3/4                                         |
| 開講学期、日にち、時限  | 前学期(夏季集中)<br>Summer Lecture<br>9/7・9/8・9/11・9/12<br>13:00-16:10                                                                                                                                                          | 開講場所 | 情報理工学域<br>School of Informatics and Engineering |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                                                                                                                                                            | 単位数  | 1                                               |
| 科目区分         | 総合文化科目／特別講義                                                                                                                                                                                                              |      |                                                 |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                                                                                                                                                                       |      |                                                 |
| 担当教員名        | 担当教員:<br>菅 哲朗. TETSUO, Kan<br>李 陽. LI, Yang<br>岩本 貢. IWAMOTO, Mitsugu<br>バグス サントソ. BAGUS, Santoso<br>尚 方. SHANG, Fang<br>萱野 良樹. KAYANO, Yoshiki<br>小木曾 公尚. KOGISO, Kiminao<br>孫 光鎬. SUN, Guanghao<br>姜 銀来. JIANG, Yinlai |      |                                                 |
| 居室           | 東4-304<br>Building East 4, Room 304                                                                                                                                                                                      |      |                                                 |
| 公開 E-Mail    | <a href="mailto:tetsuokan@uec.ac.jp">tetsuokan@uec.ac.jp</a>                                                                                                                                                             |      |                                                 |
| 授業関連 Web ページ | -                                                                                                                                                                                                                        |      |                                                 |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | 「情報」と「理工」が融合する学問領域における最新のトピックスについて概観し、これに精通すること。<br>To outline and familiarize with the latest topics in the academic field where "information" and "science and technology" merge. |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | なし<br>None                                                                                                                                                                          |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | なし<br>None                                                                                                                                                                          |
| 教科書等                    | なし<br>None                                                                                                                                                                          |

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>授業内容とその進め方</b></p>                         | <p>「情報」と「理工」が融合する学問領域における最新のトピックスについてⅡ類の各教員がオムニバス形式で講義を行う。</p> <p>About the latest topics in the academic field where “information” and “science and engineering” merge, each faculty member gives a lecture in an omnibus format.</p> <p><b>イントロダクション</b><br/>Introduction</p> <p>9月 7日(木)3時限: 小木曾 公尚 准教授<br/>1. 制御システムとサイバーセキュリティ<br/>1. Control Technology and Cybersecurity</p> <p>9月 7日(木)4時限: 李 陽 准教授<br/>2. 暗号システムのセキュリティ<br/>2. Cryptosystems Security</p> <p>9月 8日(金)3時限: 孫 光鎬 准教授<br/>3. 非接触バイタルサイン計測とその医療応用<br/>3. Non-contact vital sign measurement and its clinical applications</p> <p>9月 8日(金)4時限: 姜 銀来 准教授<br/>4. 人間と機械をつなぐ<br/>4. Interfacing Human and Machine</p> <p>9月11日(月)3時限: 岩本 貢 教授<br/>5. 情報理論的暗号: 最強の安全性の実現手法<br/>5. Information-Theoretic Cryptography: How to realize the strongest security</p> <p>9月11日(月)4時限: バグス サントソ 准教授<br/>6. 量子コンピュータに対しても安全な公開鍵暗号への紹介<br/>6. Introduction to Post-Quantum Public Key Cryptography</p> <p>9月12日(火)3時限: 尚 方 准教授<br/>7. 人工衛星搭載合成開口レーダのデータ解析と応用例<br/>7. Data interpretation and application examples of space-borne synthetic aperture radar</p> <p>9月12日(火)4時限: 萱野 良樹 准教授<br/>8. 環境電磁工学概論<br/>8. Introduction to Electromagnetic Compatibility</p> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>各教員の指示に従う<br/>Follow the instructions of each teacher</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>レポート<br/>Evaluation is based on class reports.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>なし<br/>None</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                          | <p>「情報」と「理工」が融合する学問領域における多様な世界観に触れてみましょう。<br/>Let's take a look at various views of the world in the academic field where “information” and “science and technology” merge.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他   | 遠隔方式(zoom)で行う予定                                                                                                                                                                                                                                       |
| キーワード | 暗号化制御、合成開口レーダ、生体計測、暗号、セキュリティ、<br>ヒューマン・マシン・インターフェース、環境電磁工学、公開鍵暗号<br>Encrypted Control, synthetic aperture radar, Bio-measurement, Cryptography,<br>Security, Human Machine Interface, Electromagnetic Compatibility (EMC), public-key<br>cryptography |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                            |      |           |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 授業科目名        | 学域特別講義 A(基盤理工学 B)                                                          |      |           |
| 英文授業科目名      | Current Topics in Fundamental Science and Engineering A                    |      |           |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                          | 開講年次 | 1/2/3/4   |
| 開講学期、日にち、時限  | 全学期(夏季集中)<br>Summer Lecture<br>9/6 13:00-16:10<br>9/7, 9/8 10:40-16:10 を予定 | 開講場所 | Ⅲ 類ゼミ室を予定 |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                              | 単位数  | 1         |
| 科目区分         | 総合文化科目／特別講義                                                                |      |           |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                         |      |           |
| 担当教員名        | 酒井 剛<br>Takeshi Sakai                                                      |      |           |
| 居室           | 東 3-1025<br>Building East 3, Room 1025                                     |      |           |
| 公開 E-Mail    | takeshi.sakai@uec.ac.jp                                                    |      |           |
| 授業関連 Web ページ |                                                                            |      |           |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>コミュニケーションに関連した新しい実践的な科学技術分野、「総合コミュニケーション科学」を創出するために必要な基盤理工学における現在のトピックを概説する。本講義では「総合コミュニケーション科学」を創造するために必要な学問分野とそれらの相互関係を理解することを目的とする。</p> <p>Make a review of current topics in fundamental science and engineering which are necessary for creating a new practical science and technology field related to communication “Comprehensive Communications Sciences”. In this course, aim an understanding the areas of academic discipline necessary for creating “Comprehensive Communications Sciences” and their interrelationships.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教科書等                    | なし<br>None                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>授業内容とその進め方</b></p>                         | <p>基盤理工学のうち、機械システム、電子工学、光工学、物理工学および化学生命工学の各分野から最近のトピックスについてオムニバス形式で講義を行う。また、研究室見学も実施する。集中講義は3日間を予定している。</p> <p>Of fundamental science and engineering, lecture in omnibus format on current topics from each field of mechanical system, electronic engineering, optical science and engineering, applied physics, chemistry and biotechnology. We will also conduct Lab. Tours. Intensive course is scheduled for 3 days.</p> <p>内容 (予定):<br/>Content :</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) イントロダクション<br/>Introduction (Prof. Chiba Kazuhisa)</li> <li>(2) 摩擦の現象<br/>Phenomenology and Numerical Implementation of Coulomb Friction with applications (Prof. Matuttis Hans-Georg)</li> <li>(3) 摩擦の現象の研究見学 (ラボツアー1)<br/>Lab. for phenomenology of friction (Matuttis Lab.)</li> <li>(4) ゲノム解析とゲノム編集<br/>Genome analysis and genome editing (Prof. Sampei Gen-ichi)</li> <li>(5) 究極の省エネ技術～ゼロ摩擦への挑戦～<br/>Ultimate energy-saving technology – Challenge to zero friction (Prof. Naruo Sasaki)</li> <li>(6) デジタルホログラフィーを使った3次元イメージング<br/>Three-dimensional imaging with a digital holography (Prof. Eriko Watanabe)</li> <li>(7) 高度情報化社会のための量子ドット技術の進展<br/>Progress in Quantum Dot Technologies for Advanced Information Society (Prof. Kouichi Yamaguchi)</li> <li>(8) 代謝酵素に関する研究見学 (ラボツアー2)<br/>Lab. for metabolic enzymes (Sampei Lab.)</li> </ol> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>その日のうちに、興味を持った言葉や事柄を見つけて調べる。<br/>Pick up and investigate interesting words and things in the day.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>講義に関する課題と、学んだ事柄についてのまとめたレポートを提出すること。また、講義ごとに小テストを行う。レポート点(60%)および小テスト(40%)で総合評価する。</p> <p>To submit a summary report including some tasks and what you learn in this course. Also, give a brief quiz in each lecture. Comprehensive evaluation is made at the report points (60%) and quizzes (40%).</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>随時受け付けます。予めメールでアポイントを取ってください。</p> <p>Please make an appointment before coming to my office.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|           |                                                                                                                                                         |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | Contact: Building East 3, Room 1025<br>takeshi.sakai@uec.ac.jp                                                                                          |
| 学生へのメッセージ | 興味を持つことが重要です。<br>It is important to be interested in anything!!                                                                                         |
| その他       | なし<br>None                                                                                                                                              |
| キーワード     | 機械システム、電子工学、光工学、物理工学、化学生命工学<br>Mechanical system, Electronic engineering, Optical science and engineering, Applied physics, Chemistry and Biotechnology |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                             |      |                                                                         |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 授業科目名        | 学域特別講義A(基礎物理学実験)                                                                            |      |                                                                         |
| 英文授業科目名      | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Introduction to Physics Laboratory)    |      |                                                                         |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                                           | 開講年次 | 電通大生 2/3/4<br>東外大生・農工大生 1/2/3/4                                         |
| 開講学期、日にち、時限  | 夏季集中(変更の可能性あり)<br>late Aug~early Sept. in First semester<br>(90 min×3)×5 days               | 開講場所 | D 棟 2 階および 3 階物理実験室<br>Lab rooms on the 2nd and 3rd floor of Building D |
| 授業の方法        | 実験<br>Lab work                                                                              | 単位数  | 1                                                                       |
| 科目区分         | 総合文化科目／特別講義                                                                                 |      |                                                                         |
| 開講学科・専攻      |                                                                                             |      |                                                                         |
| 担当教員名        | 未定<br>TBD                                                                                   |      |                                                                         |
| 居室           | D 棟 2 階教員控室<br>Teacher's waiting room on the 2nd floor of Building D.                       |      |                                                                         |
| 公開 E-Mail    | phys_lab@e-one.uec.ac.jp                                                                    |      |                                                                         |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://physics.e-one.uec.ac.jp/">http://physics.e-one.uec.ac.jp/</a> (in Japanese) |      |                                                                         |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>(a) 主題「基礎物理学実験」の目的は、基礎的な物理学の実験を通して科学の方法を体得することである。物理の法則を体で体験することによって理解してほしい。いろいろな実験装置に触れ、さまざまな物理量を計測して、実験の手法に慣れることは理工系の学生として必須である。</p> <p>(b) 達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の実験における測定の原理を理解すること。</li> <li>・使用する各種の実験装置と計測器に慣れること。</li> <li>・測定値の処理の仕方(不確かさの計算, 有効数字の概念)を習得すること。</li> <li>・レポートの作成および論理的な文章の作成に慣れること。</li> </ul> <p>(a) The aim of the Physics Laboratory is to master the skills of researcher and engineer through fundamental physics experiments. It is essential for the students studying science and technology to touch various experimental devices, measure various physical quantities, and become accustomed to experimental methods.</p> <p>(b) Achievement goal is</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ to understand the principle of measurement in each experiment,</li> <li>・ to become accustomed to various experiment equipment and measuring instruments to be used,</li> </ul> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |          |          |         |            |                  |           |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|---------|------------|------------------|-----------|
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>· to master how to process measured values (calculation of uncertainty, concept of significant figures),</li> <li>· getting used to writing reports and creating logical sentences.</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |          |          |         |            |                  |           |
| 前もって履修しておくべき科目      | なし<br>Nothing in particular                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |          |          |         |            |                  |           |
| 前もって履修しておくことが望ましい科目 | なし<br>None in particular                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |          |         |            |                  |           |
| 教科書等                | <p>教科書:「基礎物理学実験」(学術図書出版社)</p> <p>実験ノート(5mm 方眼)、方眼紙、関数電卓、ノート PC</p> <p>Textbook: "Kisobutsurigakujikken" (English version will be available)</p> <p>Students will also bring experimental note book (cross-sectional type), graph paper, scientific calculator. Your laptop PC is available.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |          |          |         |            |                  |           |
| 授業内容とその進め方          | <p>【1日目:13:00~17:45】</p> <p>第1回: ガイダンス(履修する学生は必ず出席すること)</p> <p>第2回: 計測機器の使用法、計測値の取り扱い</p> <p>第3回: 安全教育</p> <p>【2日目: 10:40~17:45】</p> <p>第4回~第7回 実験1</p> <p>【3日目: 10:40~17:45】</p> <p>第8回~第11回 実験2</p> <p>【4日目: 10:40~17:45】</p> <p>第12回~第15回 実験3</p> <p>第4~15回: 以下の6テーマより、予め割り当てられた実験を行う。<br/>原則として4回(1日)で1テーマを行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 重力加速度</td> <td>2. 液体の比熱</td> </tr> <tr> <td>3. 等電位線</td> <td>4. 光のスペクトル</td> </tr> <tr> <td>5. エアトラックによる力学実験</td> <td>6. 放射線の計測</td> </tr> </table> <p>(b) 実験の進め方</p> <p>実験開始時に出欠を兼ねて、その日の実験内容に関する小テストを行なうことがある。その後、主として内容の概略や注意点、テキストに掲載されていない補足説明を受け、実験に取り掛かる。テーマによって、1人で実験するものからグループで行なうものがある。計測等の実験終了後、その場でレポート作成を行う。自身のノート PC やタブレットを使用してもよい。</p> <p>#1 Guidance. Students who take classes must attend.<br/>#2 Instruction of experimental equipment and analysis of measured values<br/>#3 Safety education<br/>#4 to #15: Exchange 3 themes in turn from the 6 experiments as follows.<br/>1. Gravitational acceleration</p> | 1. 重力加速度 | 2. 液体の比熱 | 3. 等電位線 | 4. 光のスペクトル | 5. エアトラックによる力学実験 | 6. 放射線の計測 |
| 1. 重力加速度            | 2. 液体の比熱                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |          |         |            |                  |           |
| 3. 等電位線             | 4. 光のスペクトル                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |          |          |         |            |                  |           |
| 5. エアトラックによる力学実験    | 6. 放射線の計測                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |          |          |         |            |                  |           |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p>2. Specific heat of liquid<br/>3. Two-dimensional equipotential lines<br/>4. Spectrum of light<br/>5. Mechanical experiment using air track<br/>6. Measurement of radiation</p> <p>The experiments will be one theme in a day. After the experiment such as measurement, we will make a report on the spot. You may use a laptop PC.</p>                                                                                                    |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | <p>実験テキスト及び実験のwebページ, LMSを参考に予習を必ず行なうこと。</p> <p>It might be difficult to keep up with the experiment without studying the materials in advance. Students should prepare with textbook and LMS-contents.</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | <p>成績基準および成績評価は以下による。</p> <p>(1) 正規の3テーマの実験を全て行い, それら3通のレポートが受理されていること。再提出を指示されたレポートは, 再提出しなければ評価されないので注意すること。</p> <p>(2) 各レポートは5点満点で評価し, 合計点が9点以上であること。</p> <p>Each report should be evaluated on a scale of 5. Successful candidates will satisfy the following conditions.</p> <p>1. Three regular experiments were performed and the three reports were received.<br/>2. The total score of the reports is greater than or equal to 9.</p> |
| オフィスアワー:<br>授業相談                 | <p>【オフィスアワー】集中講義形式であるので、授業後に質問を受け付ける。</p> <p>【Office Hour】 As it is an intensive lecture, you will receive questions after class.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 学生へのメッセージ                        | <p>自然現象をモデル化して理解する過程を実験を通して体感して下さい。また様々のルールに従ったレポート作成技術は、理工系学生に必須のスキルであるので、その修得に努めてください。</p> <p>Please experience the process of modeling to describe natural phenomena through experiments. In addition, skills to write scientific and engineering report following various rules are essential for YOU, so please strive to acquire them.</p>                                                                                               |
| その他                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| キーワード                            | <p>物理学実験, 測定値の処理, 不確かさの計算, 報告書の作成, 論理的文章<br/>Physics experiment, processing of measured values, calculation of uncertainty, preparation of report, logical sentences</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |

令和4年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                            |      |                                                 |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|
| 授業科目名        | 学域特別講義 A(基礎化学実験)                                                                           |      |                                                 |
| 英文授業科目名      | Special Lecture on Informatics and Engineering A<br>(Introduction to Chemistry Laboratory) |      |                                                 |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2022                                                                          | 開講年次 | 電通大生 2/3/4<br>東外大生・農工大生 1/2/3/4                 |
| 開講学期、日にち、時限  | 前学期(夏季集中)<br>late Aug~early Sept. in First<br>semester<br>(90 min×3)×5 days                | 開講場所 | D 棟4階実験室<br>Lab rooms on 4th floor of Build. #D |
| 授業の方法        | 実験<br>Lab work                                                                             | 単位数  | 1                                               |
| 科目区分         | 総合文化科目／特別講義                                                                                |      |                                                 |
| 開講学科・専攻      |                                                                                            |      |                                                 |
| 担当教員名        | 小林 義男<br>KOBAYASHI, Yoshio                                                                 |      |                                                 |
| 居室           | 東6-901<br>Bldg. East #6 Room 901                                                           |      |                                                 |
| 公開 E-Mail    | kagaku [at] e-one.uec.ac.jp                                                                |      |                                                 |
| 授業関連 Web ページ |                                                                                            |      |                                                 |

講義情報

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標 | <p>基礎化学実験の目的</p> <p>(1) 実験に対する姿勢を身につける。<br/>(2) 実験を通じて化学を学ぶ。<br/>(3) 基本的実験操作を会得する。</p> <p>高校までの理科科目の学習では実際に「もの(物質)」に触れ、理論や法則を目のあたりに確認する機会が多くない。紙の上での理解に陥り易く、また理解そのものも表面的になりがちである。このクラスでは、実験を通じて基礎的物質観を養うことを目的とする。さらに、現代化学の重要な手法であるスペクトロスコピーを導入するとともに、安全と環境への配慮も身につける。理系学生の基礎を養うトレーニングコースと位置付けている。</p> <p>Purpose of Chemistry Laboratory</p> <p>(1) You learn the readiness of the chemical experiment.<br/>(2) You study chemistry through the experiments.<br/>(3) You understand the fundamental chemical procedures.</p> <p>“Chemistry Laboratory (Fundamental Science Laboratory B)” is opened to all departments from the viewpoint of the basic materials science. You also learn the spectroscopies that are the most important methodologies in modern science, and safety and environmental problems. This program is positioned as a training course to</p> |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                         | cultivate the foundation for the university students that study science and engineering.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | なし<br>Nothing in particular                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 前もって履修しておくこ<br>とが望ましい科目 | なし<br>None in particular                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 教科書等                    | 教科書:「基礎科学実験B」(電気通信大学化学教室編)<br>生協で販売するので、ガイダンスのときに持参して下さい。<br><br>Textbook “Fundamental Science Laboratory A – Chemistry –”. Bring the textbook at the guidance.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 授業内容と<br>その進め方          | <p>※ 社会情勢(新型コロナウイルス感染症対策)により、遠隔授業または中止となることがあります。</p> <p>授業内容 (日程は履修希望者のスケジュールに合わせます。ここでは、9月第2週目に開講するとして記します。)</p> <p>【1日目:9/5(火)13:00~17:45】</p> <p>第1回 ガイダンス(履修者は必ず出席すること)</p> <p>第2回 安全教育</p> <p>第3回 ガラス器具の基本操作</p> <p>【2日目:9/6(水)10:40~17:45】</p> <p>第4回 実験1の説明</p> <p>第5・6回 実験1</p> <p>第7回 実験1のレポート作成</p> <p>【3日目:9/7(木)10:40~17:45】</p> <p>第8回 実験2の説明</p> <p>第9・10回 実験2</p> <p>第11回 実験2のレポート作成</p> <p>【4日目:9/8(金)10:40~17:45】</p> <p>第12回 実験3の説明</p> <p>第13・14回 実験3</p> <p>第15回 実験3のレポート作成</p> <p>実験1・2・3は、以下から事前に決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デュマ法による分子量測定</li> <li>・ダニエル電池の起電力測定</li> <li>・コロイドの作製と物性評価</li> <li>・吸光光度法による鉄の定量</li> <li>・紫外可視吸収スペクトルと分子軌道</li> <li>・カフェインの抽出と紫外吸収スペクトル</li> <li>・アスピリンの合成と赤外分光法</li> <li>・定性分析</li> </ul> <p>担当教員が実験における注意点や内容の説明をする。実験をはじめる前に簡単な</p> |

テストを行ない、実験内容の理解度の確認をする。終了後、実験レポートを作成して、提出する。実験ノートに記載内容を確認して検印を押し、後片付けをする。

#### Contents

※ It may be a remote lecture or cancelled depending on the social situation for the COVID-19 infection.

The experiment is scheduled to start in the second week of September, but it will be arranged according to the applicants.

#### Day #1

#1 Guidance

#2 Safety education

#3 Instruction of experimental apparatus

#### Day #2

#4 Instruction of Exp. 1

#5, 6 Exp. 1

#7 Report generation of Exp. 1

#### Day #3

#8 Instruction of Exp. 2

#9, 10 Exp. 2

#11 Report generation of Exp. 2

#### Day #4

#12 Instruction of Exp. 3

#13, 14 Exp. 3

#15 Report generation of Exp. 3

Exp. 1, 2 and 3 are selected in advance from the following item.

- Molecular weight measurement by Dumas method
- Electromotive force of Daniel cell
- Colloid
- Determination of iron by absorption spectrophotometry
- Ultraviolet-visible absorption spectrum and molecular orbitals
- Extraction of caffeine and ultraviolet absorption spectrum
- Preparation of Aspirin and Infrared spectroscopy
- Qualitative analysis of metal ions

Before class starts, make sure you understand the experiment. You are supposed to do and all safety aspects. At the beginning of each experiment, the instructor will lecture on the experiment. Experimental notes should be recorded in your lab notebooks during the experiment. Record all observations and events. Sketch the apparatus. After the experiment, submit the report.

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>実験前にテキストを良く読み、実験内容を十分理解しておいてください。実験終了後、実験内容をまとめてレポートとして提出すること</p> <p>Read the experimental purpose and the chemical procedure before the experiment, and understand the contents of the experiment. It is important to summarize the experimental procedure in your notebook.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>レポートは以下の項目で評価する。欠席および未提出レポートが無いことを原則とする。</p> <p>成績評価のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実験内容の理解</li> <li>(2) 実験操作と観察結果の記録</li> <li>(3) データ整理</li> <li>(4) 結果の表やグラフの書き方</li> <li>(5) 結果について論理的考察</li> </ol> <p>Reports must be submitted on time within one week of the experiment. Marks will be evaluated the following points:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Understanding of the experimental context</li> <li>(2) Experimental procedure and record of observation results</li> <li>(3) Data handling</li> <li>(4) Writing the obtained results in graphs and tables</li> <li>(5) Logical and chemical discussions on the experimental results</li> </ol> |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p>                  | <p>オフィスアワー: 小林(全体責任者) 土曜3限 D棟4階教員控え室<br/>履修などの問い合わせは、化学事務室(東1-211)に電子メール(kagaku[at]e-one.uec.ac.jp)でも受け付けます</p> <p>Office hour : Saturday 13:00~14:30 at D-bldg. 4F.<br/>Contact : Chemistry Office at East #1 bldg. Room 211.<br/>e-Mail : yoshio.kobayashi[at]uec.ac.jp</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                          | <p>いろいろな化学実験を行い、得られた実験データに基づいてレポートを作成する。通常の講義とは違って、学ぶことも得られるものも多い。知識を身につけるだけでなく、理科系のいわば基礎体力を養うトレーニングコースである。</p> <p>You carry out various experiments of chemistry and submit the report based on the obtained data. Unlike ordinary lectures, you can obtain many things that can be learned. This class is one of the training courses that cultivate fundamental chemistry.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>その他</b></p>                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p><b>キーワード</b></p>                              | <p>デュマ法による分子量測定、ダニエル電池の起電力測定、コロイド、吸光光度法による鉄の定量、カフェインの抽出と紫外吸収スペクトル、アスピリンの合成と赤外分光法、定性分析</p> <p>Molecular weight measurement, Dumas method, Electromotive force (E. M. F.), Daniel</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|  |                                                                                                                                                                                                                                           |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | cell, Colloid, Absorption spectrophotometry, Ultraviolet-visible absorption spectrum, Molecular orbitals, Caffeine, Ultraviolet absorption spectrum, Preparation of Aspirin and Infrared spectroscopy, Qualitative analysis of metal ions |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                   |      |                                         |
|--------------|-------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------|
| 授業科目名        | Experimental Electronics Laboratory                               |      |                                         |
| 英文授業科目名      | Experimental Electronics Laboratory                               |      |                                         |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                 | 開講年次 | 電通大生 2/3<br>東外大生・農工大生 1/2/3             |
| 開講学期、日にち、時限  | 後学期<br>Second semester<br>木曜日 13:00～16:10<br>Thursday 13:00～16:10 | 開講場所 | 西 8 号館 317 号室<br>Bldg. West 8, room 317 |
| 授業の方法        | 実験<br>Lab work                                                    | 単位数  | 2                                       |
| 科目区分         | 専門科目                                                              |      |                                         |
| 開講学科・専攻      | Ⅲ 類<br>Cluster Ⅲ                                                  |      |                                         |
| 担当教員名        | 岸本, Nayak                                                         |      |                                         |
| 居室           | 東 6 号館 628 号室<br>Building East 6, Room 628                        |      |                                         |
| 公開 E-Mail    | kishi(at)pc.uec.ac.jp, kalipnayak@uec.ac.jp                       |      |                                         |
| 授業関連 Web ページ | none                                                              |      |                                         |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>この実験科目は、電気電子回路の基本を実験しながら修得することがテーマになります。この科目では、アナログ受動素子回路、アナログ能動素子回路、デジタル回路の3分野から選りすぐった計7つの必修テーマに関して、実際に様々な回路を組み立て動作させる作業を通して、電気電子回路に関する基本的な理解と応用力を身につけます。</p> <p>This course is designed for students who have no or little practical knowledge of electrical circuits. They will learn the basics of analog and digital electronics through hands-on experiments combined with short lectures to enhance their fundamental understanding of electronic circuits.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | <p>基礎的な電気回路に関する科目</p> <p>Basic Electronics</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | <p>複素数についても学んでおくとい。</p> <p>Analysis, especially complex numbers.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 教科書等                    | <p>実験手順が記述されたテキストの pdf ファイルが用意されています。</p> <p>A pdf version of the instruction manual will be provided during the class.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 授業内容と<br>その進め方          | <p>7つの必修実験テーマに関して、実際に様々な回路を組み立て動作させる作業を通して、電気現象および電気回路や電子回路に関する基本的な理解と応用力を身につけます。また、実験した内容を報告書にまとめる能力を養います。自分が実験した結</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p>果および理解した内容を文書をととして適切に人に伝えることができるようなトレーニングを行います。</p> <p>第1週を全体ガイダンスとし、その後、下記の項目の実験を行います。クラスは、「実験の週」と、「提出レポートに関する講評および口頭試問の週」を交互に受講していきます。尚、実験は、学生が2人1組で行います。</p> <p>※新型コロナの影響で、テーマや運営方法に変更が生じる可能性があります。</p> <p>(第1週) 全体共通ガイダンス<br/> (第2週) 英語クラスガイダンス<br/> (第3週) インピーダンスの周波数測定1 抵抗<br/> (第4週) レポート講評 インピーダンスの周波数測定1 抵抗<br/> (第5週) インピーダンスの周波数測定2 インダクタとキャパシタ<br/> (第6週) レポート講評 インピーダンスの周波数測定2 インダクタとキャパシタ<br/> (第7週) LC 共振回路<br/> (第8週) レポート講評 LC 共振回路<br/> (第9週) ラジオ信号送信と LC 共振回路を用いた受信<br/> (第10週) レポート講評 ラジオ信号送信と LC 共振回路を用いた受信<br/> (第11週) LED とトランジスタ<br/> (第12週) レポート講評 LED とトランジスタ<br/> (第13週) オペアンプとその応用(LED を用いた信号の送受信)<br/> (第14週) レポート講評 オペアンプとその応用(LED を用いた信号の送受信)<br/> (第15週) 論理回路</p> <p>Each student builds the following electrical circuits on the solderless breadboard. He or she then measures and analyzes various properties. The experiments are carried out every other week, and classroom discussion is held in between.</p> <p>※ Depending on the COVID-19 situation, some of the hands-on projects and how the class will be held may be changed.</p> <p>1) Measurement of resistance.<br/> 2) Measurement of complex impedance for C and L.<br/> 3) Resonant behavior of LC-circuits.<br/> 4) Transmission of radio signals and collection using LC-circuits.<br/> 5) Transistors and LEDs.<br/> 6) Operation amplifiers and their applications. (transmit and receive sound signals using LEDs).<br/> 7) Logic gates.</p> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | <p>実験をきちんと実施するためには、あらかじめテキストを十分予習し、実験で用いる素子の基本的な理解をしておく必要があります。</p> <p>Please study the basic technical terms of the IC you will work on each week before performing the electronics laboratory experiments.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | <p>(a)評価方法:<br/> {実験レポート}(60%)、{実験時や講評時における取り組みの様子}(40%)を、おおむね上記の割合で総合的に評価します。</p> <p>(b)評価基準</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                        | <p>以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします。</p> <p>(1) 実験をすべて実施すること。</p> <p>(2) 実験に関するレポートを定められた期日までに全て提出すること。</p> <p>(3) 口頭での講評を受けて、実験に関する全てのレポートが担当教員に受理されること。ただし、レポートの再提出を指示された場合には、それぞれ決められた期日までに再提出しなければ、受理されたとみなされない。</p> <p>(4) 講評時の講義中の議論に参加すること。</p> <p>(5) 成績評価の平均が SABCD の 5 段階評価のうち、C 以上であること。</p> <p>すなわち、各実験テーマについての基本原理と基本動作を理解して実際に実験実施できるとともに、実施した実験内容を正しく報告書にまとめることができること。</p> <p>It is mandatory to finish all the projects listed above in order to acquire the credit. The attitude and motivation towards the experimental work accounts for 40% of the evaluation score. These 40% include potential evaluation through random oral examination or open discussion of the knowledge acquired through self-studies and post-laboratory lectures. The remaining 60% correspond to the evaluation of the submitted reports which should be logically organized to clearly present the results obtained during the experimental class and discuss them. Delayed submission of these reports will decrease the student's evaluation score.</p> |
| <p><b>オフィスアワー:</b><br/><b>授業相談</b></p> | <p>実験時間中やレポート講評時間中に、担当教員が適宜相談に応じます。不明点等に対しては積極的に質問してください。</p> <p>連絡先: 東 6 号館 628 号室 内線 5449、kishi(at)pc.uec.ac.jp</p> <p>Please make an appointment before coming to my office.</p> <p>Contact: Bldg-E6, room 628</p> <p>Ext:5449</p> <p>kishi(at)pc.uec.ac.jp</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>                | <p>この英語クラスは、なるべく楽しく学びながら理解を深めていけるような実験テーマを用意しております。</p> <p>We constantly improve the various projects to ensure that students learn basic electronics circuits while having fun. So come and have fun playing with electronic circuits in a multicultural environment!</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p><b>その他</b></p>                      | <p>この講義は、短期留学生と電通大学部2年生の希望学生による合同クラスとして、英語ベースで行われています。</p> <p>The course was originally designed for JUSST students, but regular students are more than welcome to take it.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p><b>キーワード</b></p>                    | <p>複素インピーダンス、インダクタ、コンデンサ、論理ゲート、オペアンプ、トランジスタ</p> <p>complex impedance, inductor, capacitor, logic gate, operational amplifier, bipolar junction transistor.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                 |      |                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|
| 授業科目名        | UEC Academic Skills I (Computer Literacy)                                       |      |                                                 |
| 英文授業科目名      | UEC Academic Skills I (Computer Literacy)                                       |      |                                                 |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                               | 開講年次 | 電通大生 1/2/3/4<br>東外大生・農工大生 1/2/3/4               |
| 開講学期、日にち、時限  | 後学期<br>Second semester<br>火曜日 9:00～10:30                                        | 開講場所 | C 棟 401 (演習室)<br>C building 401 (Computer Room) |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                   | 単位数  | 2                                               |
| 科目区分         | 総合文化科目                                                                          |      |                                                 |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                              |      |                                                 |
| 担当教員名        | Choo Cheow Keong                                                                |      |                                                 |
| 居室           | East 2-305                                                                      |      |                                                 |
| 公開 E-Mail    | uec-as1@fedu.uec.ac.jp                                                          |      |                                                 |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.fedu.uec.ac.jp/skills">http://www.fedu.uec.ac.jp/skills</a> |      |                                                 |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>この授業は、情報社会の基本的な倫理と法順守の理解から始まり、Unix システムの基本操作、LaTeX によるドキュメント作成やホームページ制作まで学習する授業である。英語で授業を履修し、コンピュータに関する基礎的な知識・スキルを身につける。(技術力・英語力はいっさい問いません。短期交換留学生と一緒に学べる英語授業科目ので、是非皆さんも気軽に来てみてください)</p> <p>This course gives the students the intermediate-advanced knowledge of computer systems and computer networks in a typical academic environment. The lecture stresses fundamental tools and techniques that are applicable to a broad reach of systems such as the use of primitive, but powerful tools as UNIX shell, HTML, LaTeX and Git/GitHub.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | なし<br>NIL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | コンピューターリテラシー<br>Computer literacy                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 教科書等                    | なし<br>NIL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 授業内容と<br>その進め方          | 授業は基本的に対面型式で実施するが、オンライン(リアルタイム)も受講できる。以下に各回の主な学習項目を示す。一般のコンピューターリテラシーの内容とほぼ同じだが、論文執筆に向けた基本的な LaTeX ファイルの書き方を中心に構成されている                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>て、グループワークと発表も兼ねている。</p> <p>授業内容<br/>Course schedule and topics that will be covered</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction (Usage: The Information Technology Center ITC, UEC campus network use policies)</li> <li>2. Computer operating system and Tools (fundamentals)</li> <li>3. Unix operating system (fundamentals)</li> <li>4. Unix operating system (The Internet and computer network)</li> <li>5. Word Processing and LaTeX (Basic Unix Editor and LaTeX)</li> <li>6. LaTeX (Environments and layout; LaTeX commands, Structure, Package, Class, style, Text typesetting)</li> <li>7. LaTeX (Mathematical Formulas)</li> <li>8. LaTeX (Displayed; Lists, Tabulator, Tables)</li> <li>9. LaTeX (Displayed; Graphics, Drawing)</li> <li>10. LaTeX (Labels, Cross-referencing, Citations and Bibliography)</li> <li>11. Introduction to Git and GitHub (Overview; applications, Website project)</li> <li>12. HTML (Basic; Structure, Tag, color, typesetting)</li> <li>13. HTML (Links and Multimedia; Images, Sound, and Movies)</li> <li>14. HTML (List, Tables and Interactivity, Cascading Style Sheet; CSS)</li> <li>15. HTML (Website Project Work)</li> </ol> <hr/> <p>This is a lecture-lab course in which the instructor presents the topics, and the students complete the assignments during lab periods or outside of class. The content is intended to be a lecture in combination with a practical exercise ("learn, practice, implement and apply") that will cover the basic usage of the UNIX system, and including how to write in LaTeX and HTML.</p> <p>Note that the lecture schedule is subject to constant revisions throughout the course.</p> |
| <p>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</p>              | <p>作成したホームページの発表の準備など</p> <p>Students are required to create/design a homepage and present it in class at the end of the semester. Thus, the student may need some extra time to create the homepage.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</p> | <p>評価方法 (毎週の課題 50%, 中間発表 30%, 期末発表 20%)<br/>出席が授業回数の 70%に達することを前提条件としている。</p> <p>Evaluation is given as follows; (Tasks 50%, Mid-Semester presentation 30%, Final presentation 20%)</p> <p>Since this course is a practical course, attendance and participation in class are obligatory. Only students who have 1) maintained at least 70% of the attendance, 2) submitted all the assignments and 3) made their Mid-semester &amp; final presentations can</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | obtain the credits.                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b> | 12:00-13:00、まずはメールで連絡を。<br>12:00-13:00, for just-in-case, schedule an appointment before walking in.                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>学生へのメッセージ</b>         | 授業に積極的参加と発言をし、活発な質問や議論を行ってくれることを期待する。<br><br>We expect students to be the active part of the learning process. We encourage the students' participation in class discussions, asking questions and interacting with others. If you have any comments on the topics covered, please feel free to share with the others in class. |
| <b>その他</b>               | 遅刻することなく時間通りに出席し、やむを得ない理由で欠席する或いはした場合には、必ず連絡をすること。<br><br>Students are expected to come to class on time. Absences are excused in case of emergency, illness, or trips to conferences.                                                                                                                                          |
| <b>キーワード</b>             | Unix, HTML, Latex, Website, Git/GitHub                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

令和5年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                 |      |                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|
| 授業科目名        | UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)                      |      |                                                 |
| 英文授業科目名      | UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)                      |      |                                                 |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                               | 開講年次 | 電通大生 2/3/4<br>東外大生・農工大生 1/2/3/4                 |
| 開講学期、日にち、時限  | 後学期<br>Second semester<br>火曜日 10:40～12:10                                       | 開講場所 | C 棟 401 (演習室)<br>C building 401 (Computer Room) |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                   | 単位数  | 2                                               |
| 科目区分         | 総合文化科目                                                                          |      |                                                 |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                              |      |                                                 |
| 担当教員名        | Choo Cheow Keong                                                                |      |                                                 |
| 居室           | East 2-305                                                                      |      |                                                 |
| 公開 E-Mail    | uec-as2@jusst.fedu.uec.ac.jp                                                    |      |                                                 |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.fedu.uec.ac.jp/skills">http://www.fedu.uec.ac.jp/skills</a> |      |                                                 |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>この授業は、図書館を活用して論文と科学技術資料を検索し、収集した一次情報の整理と仕分けの基礎を習得する。演習では、オープンソース・フリーウェアを活用して、マインドマップ、図形、グラフや発表ポスターを作成しながら、相手に伝わる理解しやすい研究資料を作成する基礎スキルを学ぶ。学期末には、ポスタープレゼンテーション(発表)を行う。(対象学生は、学部2年以上と大学院生で、技術力・英語力はいっさい問いません。留学生と一緒に学べる英語授業科目なので、是非皆さんも気軽に来てみてください)</p> <p>This course is designed to foster students' ability to identify, evaluate and use diverse information sources effectively in science and engineering studies. It involves the knowledge of information technology tools and their application to research. Students are required to give a poster presentation on their major study or research at the end of the semester.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | コンピューターリテラシー<br>UEC Academic Skills I (Computer Literacy)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | なし<br>NIL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 教科書等                    | なし<br>NIL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 授業内容と                   | 以下に各回の主な学習項目を示す。研究に必要な不可欠な情報資源である大学図書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>その進め方</b></p>                              | <p>館の所蔵文献、学術データベースや電子ジャーナルまたは検索システムを利用して検索し文献を検索、収集と管理に係る一連の手法を習得する。また講義では、科学技術や理工系における必須な図形描画、表計算、グラフ作成やポスター製作についての知識と技術を実習する。</p> <p>授業内容<br/>Course schedule and topics that will be covered</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction (Usage: The Information Technology Center etc.)</li> <li>2. Scientific literatures and resources retrieval (UEC Library)</li> <li>3. Mind mapping, brain storming</li> <li>4. Academic Integrity (Referencing, citing, create bibliographies)</li> <li>5. Managing and sharing resources</li> <li>6. Writing a research proposal</li> <li>7. Scientific drawing, Charts, Diagrams and Timelines (Inkscape, GIMP)</li> <li>8. Tables, Graphs (SciDAVis)</li> <li>9. Desktop publishing for scientific poster (Scribus)</li> <li>11. Creating effective scientific poster</li> <li>12. Formula editor (word processing)</li> <li>12. Writing an Abstract for research</li> <li>13. Preparation for presentation</li> <li>14. Poster presentation 1/2</li> <li>15. Poster presentation 2/2</li> </ol> <hr/> <p>The course introduces the use of some powerful tools for scientific research and engineering, field. The lectures include hands-on learning and applicable exercises that assumes no any previous experience or training, so the initial emphases are on the use of the basic scientific software and the basic research procedures.</p> <p>Note that the lecture schedule is subject to constant revisions throughout the course.</p> |
| <p><b>授業時間外の学習<br/>(予習・復習等)</b></p>              | <p>現在研究している内容、或いは興味のあるテーマの学術論文(1～3通)を纏めて、ポスター発表することが望まれる。</p> <p>Students need to read 1 to 3 articles about varied topics, and at the end of the semester, the students are expected to make a poster presentation.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p><b>成績評価方法<br/>および評価基準<br/>(最低達成基準を含む)</b></p> | <p>評価方法 (毎週の課題 50%, 中間発表 20%, ポスター発表 20%)<br/>出席が授業回数の 70%に達することを前提条件としている。</p> <p>Evaluation is given as follows; (Assignments 50%, midterm presentation 20%, Poster presentation 30%)</p> <p>Since this course is a practical course, attendance and participant ion in class is obligatory. Only students who have 1) maintained at least 70% of attendance, 2)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                          | submitted all the assignments and 3) made their poster presentations can obtain the credits.                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b> | 12:00-13:00、先ずはメールで連絡を。<br>12:00-13:00, for just-in-case, schedule an appointment before walking in.                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>学生へのメッセージ</b>         | 授業に積極的参加と発言をし、活発な質問や議論を行ってくれることを期待する。<br><br>We expect students to be the active part of the learning process. We encourage the students' participation in class discussions, asking questions and interacting with others. If you have any comments on the topics covered, please feel free to share with the others in class. |
| <b>その他</b>               | 遅刻することなく時間通りに出席し、やむを得ない理由で欠席する或いはした場合には、必ず連絡をすること。<br><br>Students are expected to come to class on time. Absences are excused in case of emergency, illness, or trips to conferences.                                                                                                                                          |
| <b>キーワード</b>             | 研究、情報探索、デスクトップパブリッシング、ポスター発表<br>Research, library, Desktop publishing, poster presentation                                                                                                                                                                                                                                      |

令和5 年度 3 大学英語化科目 シラバス登録フォーマット

|              |                                                                                 |      |                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 授業科目名        | UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)                      |      |                                                                       |
| 英文授業科目名      | UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)                      |      |                                                                       |
| 開講年度         | 2023 年度<br>FY2023                                                               | 開講年次 | 電通大生 3/4<br>東外大生・農工大生 1/2/3/4                                         |
| 開講学期、日にち、時限  | 後学期<br>Second semester<br>木曜日 9:00～10:30                                        | 開講場所 | 東 3 号館 1 階 (演習室)<br>E3 building 1 <sup>st</sup> floor (Computer Room) |
| 授業の方法        | 講義<br>Lecture                                                                   | 単位数  | 2                                                                     |
| 科目区分         | 総合文化科目                                                                          |      |                                                                       |
| 開講学科・専攻      | 全類<br>All clusters                                                              |      |                                                                       |
| 担当教員名        | Choo Cheow Keong                                                                |      |                                                                       |
| 居室           | East 2-305                                                                      |      |                                                                       |
| 公開 E-Mail    | uec-as3@fedu.uec.ac.jp                                                          |      |                                                                       |
| 授業関連 Web ページ | <a href="http://www.fedu.uec.ac.jp/skills">http://www.fedu.uec.ac.jp/skills</a> |      |                                                                       |

講義情報

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主題および<br>達成目標           | <p>この授業は、学生が各自の研究テーマ(或いは調査研究)に合わせて研究計画の立案、情報収集、研究・調査の遂行、研究論文の作成や投稿までの一覧の課程を通して研究や発表の基礎的スキルを学習する。また、科学者や技術者がその職務を遂行する上で、守るべきモラル・倫理についても学習する。学期末には、口頭発表を行う。(対象学生は、学部3年以上と大学院生で、技術力・英語力はいつさい問いません。短期交換留学生と一緒に学べる英語授業科目なので、是非皆さんも気軽に参加ください)</p> <p>*国際科目全般は、短期留学生の来日にあわせて授業開始するので、通常の授業より1-2週間遅くなる場合がある。担当教員に確認してください。</p> <p>This course focuses attention on the exercise of strategic research project. Students are required to carry out a study/research project for more than a half of year with a specific topic. Then, they need to proceed their own project after they choose their own topic and make a monthly plan. At the end of the semester, there will be an international mini-conference that has participants of all the JUSST Exchange Students and other regular UEC Students.</p> |
| 前もって履修<br>しておくべき科目      | コンピューターリテラシー<br>UEC Academic Skills I (Computer Literacy)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 前もって履修しておく<br>ことが望ましい科目 | UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 教科書等                    | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | NIL                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 授業内容とその進め方                       | <p>以下に各回の主な学習項目を示す。講義では、科学技術や理工系における論文執筆から発表・投稿までの基礎知識を身につける。</p> <p>授業内容<br/>Course schedule and topics that will be covered</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction (Usage: The Information Technology Center etc.)</li> <li>2. Academic Integrity (Interesting and Unpublished, Scientific misconduct)</li> <li>3. Researcher's outputs (Why, How, Where)</li> <li>4. Planning the research/research protocol (LaTeX editor, Mind mapping, brainstorming etc.)</li> <li>5. Proposing and Reporting on Research</li> <li>6. Making scientific presentation</li> <li>7. Midterm Presentation 1/2</li> <li>8. Midterm Presentation 2/2</li> <li>9. Brush up on your skills (Handling Q&amp;A)</li> <li>10. Communication and Correspondence (Peer, Researcher, Editor, etc.)</li> <li>11. Academic publishing (Overviews; Dissertation, Monograph, Scientific paper)</li> <li>12. Academic publishing (Procedures, Processes, and Standards)</li> <li>13. Assessment and evaluation</li> <li>14. Oral presentation 1/2</li> <li>15. Oral presentation 2/2</li> </ol> <hr/> <p>The lecture is designed to support the pursuit of writing research paper and share the skills of quality publishing. All the lectures are linked with practical activities, and at the end of the course, the students are required to write a paper and give a presentation on their research-based projects.</p> <p>Note that the lecture schedule is subject to constant revisions throughout the course.</p> |
| 授業時間外の学習<br>(予習・復習等)             | <p>現在研究している内容、或いは興味のあるテーマの学術論文(2～3通)を纏めて、発表することが望まれる。</p> <p>Students need to read 2 to 3 articles about varied topics and at the mid and end of the semester, the students are expected to give an oral presentation.</p> <p>For laboratory assigned students, the essential project hours are estimated for more than 8 hours a week, where this is the same standard of graduate thesis project.</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 成績評価方法<br>および評価基準<br>(最低達成基準を含む) | <p>評価方法 (毎週の課題 40%, 論文作成 30%, 口頭発表 30%)<br/>出席が授業回数の 70%に達することを前提条件としている。</p> <p>Evaluation is given as follows; (Assignments 40%, Writing paper 30%, Oral presentation</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 | <p>30%)</p> <p>Since this course is a practical course, attendance and participation in class are obligatory. Only students who have 1) maintained at least 70% of attendance, 2) submitted the writing paper and 3) made their final presentations can obtain the credits.</p>                                                        |
| <p><b>オフィスアワー:<br/>授業相談</b></p> | <p>12:00-13:00、先ずはメールで連絡を。</p> <p>12:00-13:00, for just-in-case, schedule an appointment before walking in.</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| <p><b>学生へのメッセージ</b></p>         | <p>授業に積極的参加と発言をし、活発な質問や議論を行ってくれることを期待する。</p> <p>We expect students to be the active part of the learning process. We encourage the students' participation in class discussions, asking questions and interacting with others. If you have any comments on the topics covered, please feel free to share with the others in class.</p> |
| <p><b>その他</b></p>               | <p>遅刻することなく時間通りに出席し、やむを得ない理由で欠席する或いはした場合には、必ず連絡をすること。</p> <p>Students are expected to come to class on time. Absences are excused in case of emergency, illness, or trips to conferences.</p>                                                                                                                                          |
| <p><b>キーワード</b></p>             | <p>研究、論文作成と投稿、口頭発表</p> <p>Research, Publishing paper, oral presentation</p>                                                                                                                                                                                                                                                            |